

令和 4 年度
東京国立博物館文化財修理報告 24



東京国立博物館

はじめに

本書は、令和4年度に完了した総計31件の本格修理の概要について報告するものである。その内訳は、絵画1件、染織26件、考古2件、和書1件、東洋絵画1件である。

修理にあたっては館内外合わせて7工房の協力を得た。なお、令和4年度に開始し、令和5年度に継続している22件（令和6年3月31日までに完了したものを含む）については巻末に一覧で示した。

また、当館では対症修理にも積極的に取り組んでおり、令和4年度の実施件数は439件である。本書にはその詳細は省略するが、修理記録は本格修理同様に作成し、保管している。

文化財の修理は、将来予想される再修理に備え、かつ修理前の状態を後世に伝えるために修理記録を作成し、管理する必要がある。また、修理仕様や修理に際して見出された新知見は広く公開すべきものとする。本書が文化財保存修理に携わる方々のお役に立てば幸いである。

令和6年3月 東京国立博物館

Foreword

This publication is an overview of the full-scale conservation works completed at the Tokyo National Museum during FY2022 on a total of 31 objects: one Japanese painting, 26 Japanese textile objects, two Japanese archaeological objects, one Japanese book, and one Asian painting.

A total of seven conservation studios, including both internal and external contractors, were involved in these conservation activities. A list of the 22 additional objects for which treatment began in FY2022 and continued into FY2023 is included at the end of this publication.

Tokyo National Museum has also been actively conducting remedial treatments, with 439 objects treated during FY2022. While not featured in this publication, details of these activities are fully documented and catalogued in the Museum's conservation records.

Conservation work performed on cultural properties needs to be appropriately documented and managed to prepare these properties for future treatment, and to inform future generations of their conditions before treatment. Furthermore, the Tokyo National Museum believes that the conservation methods used and the new findings obtained from these conservation activities should be made widely available. We hope that this publication will be useful for everyone who engages in the conservation of cultural properties.

March 2024

Tokyo National Museum

目 次

はじめに					1
Foreword					3
令和4年度 修理作品					
通番	名称	作者等・出土地	員数	番号	
【絵画】 1 件					
1	扇面雑画	酒井抱一筆	60面のうち 15面	A-1155	8
【染織】 26 件					
2	◎ 小袖 白綾地秋草模様	尾形光琳筆	1 領	I-721	13
3	緑地目結文纈纈平絹	正倉院伝来	1 枚	I-337-6	19
4	緑地目結文纈纈平絹	正倉院伝来	1 枚	I-337-7	20
5	茶地霞襷烏文縹纈平絹	正倉院伝来	1 枚	I-337-48	21
6	緑地霞襷烏文縹纈平絹	正倉院伝来	1 枚	I-337-49	22
7	紫地海賦文縹纈平絹	正倉院伝来	1 枚	I-337-50	23
8	緑地草花文縹纈平絹	正倉院伝来	1 枚	I-337-54	24
9	淡青地草花文縹纈平絹腰袷残欠	正倉院伝来	1 枚	I-337-57	25
10	淡茶地集花文夾纈平絹	正倉院伝来	1 枚	I-337-89	26
11	淡茶地集花文夾纈平絹	正倉院伝来	1 枚	I-337-90	28
12	茶地花葉文夾纈羅	正倉院伝来	1 枚	I-337-109	29
13	紫地飛仙文綾天蓋垂飾残欠	正倉院伝来	1 枚	I-337-134	30
14	紫地雲鳳文綾天蓋垂飾残欠	正倉院伝来	1 枚	I-337-135	31
15	黄地花唐草文綾	正倉院伝来	1 枚	I-337-136	32
16	紫地花唐草文綾幡足残欠	正倉院伝来	1 枚	I-337-137	33
17	紫地唐花文錦	正倉院伝来	1 枚	I-337-171	34
18	黄地唐花文錦	正倉院伝来	1 枚	I-337-173	35
19	長斑花鳥文錦	正倉院伝来	1 枚	I-337-176	36
20	黄地連珠入亀甲繫花文錦幡足垂端飾	正倉院伝来	1 枚	I-337-196	37
21	黄地花文錦幡足垂端飾	正倉院伝来	1 枚	I-337-197	38
22	赤地唐花文錦幡足垂端飾	正倉院伝来	1 枚	I-337-198	39
23	白茶地花文錦幡足垂端飾	正倉院伝来	1 枚	I-337-199	40
24	赤地唐花文錦幡足垂端飾	正倉院伝来	1 枚	I-337-200	41
25	緑地唐花文錦幡足垂端飾	正倉院伝来	1 枚	I-337-201	42

26	淡縹地唐花文錦	正倉院伝来	1 枚	I-337-233	43
27	黄緑地目結文纈纈平絹	正倉院伝来	1 枚	I-337-234	44
【考古】 2 件					
28	埴輪 馬	群馬県伊勢崎市下舐町出土	1 個	J-7822	45
29	石棒	長野県駒ヶ根市赤穂（美女ヶ森）出土	1 個	J-1474	47
【和書】 1 件					
30	大三川志	松平頼寛編著、松平頼亮校訂	109 冊	QB-30	49
【東洋絵画】 1 件					
31	カシ米尔様式写本	インド	1 冊	TA-693-72	52
令和 5 年度 継続修理作品一覧					56
令和 4 年度 対症修理作品一覧					61
List of Works Conserved in Fiscal Year 2022					77

凡 例

1. 本書は、令和4年度に修理を実施した東京国立博物館保管の作品について、その概要を収録した報告書である。
2. 当該年度に修理が未了で翌年度に継続する作品は56～59ページの表にまとめて示した。
3. 令和4年度の修理対象品は日本および東洋などの美術、工芸、考古、歴史資料の各分野である。本書では各々の分野にしたがって、絵画、染織、考古、和書、東洋絵画の順に掲載した。
4. 本文の表記は指定、作品名称、列品番号、員数、作者等・出土地、時代、品質、法量（単位はcm、修理前・修理後を併記）、作品の概要および修理前の状態、修理仕様、特記事項、修理者、修理価格、修理期間とした。修理者は、会社の場合は代表者の名前を、個人の場合は個人名を記した。また、作品名称の前に付した●は国宝、◎は重要文化財、○は重要美術品を示す。
5. 絵画、書跡、歴史資料などの修理仕様のなかで、新糊とは小麦澱粉糊、古糊とは新糊を10年程度涼暗所で保存した糊を示す。
6. 掲載の写真は、修理前および修理後の一部の写真については、当館列品管理課（藤瀬雄輔、吉岡由哲ほか）が、修理中を含むその他の写真は各修理工房が撮影した。
7. 英訳は当館学芸企画部企画課国際交流室君波妙子が担当した。
8. 本書の編集は、当館学芸研究部保存修復課と、同学芸企画部企画課出版企画室が担当した。

令和 4 年度 修理作品

品 質 紙本墨画着色

- ① A-1155-28 譲葉
- ② A-1155-30 墨竹
- ③ A-1155-33 茄子に蟋蟀
- ④ A-1155-34 結び椎茸
- ⑤ A-1155-36 大根に河豚
- ⑥ A-1155-43 めだか
- ⑦ A-1155-45 薬屋根に夕顔
- ⑧ A-1155-46 浜松
- ⑨ A-1155-47 蓬萊山
- ⑩ A-1155-49 田園風景
- ⑪ A-1155-53 ごまめと水引
- ⑫ A-1155-54 鶯笛と若菜
- ⑬ A-1155-56 稗蒔
- ⑭ A-1155-58 五徳と羽根簞
- ⑮ A-1155-59 籠に雪紅葉

法 量 表1参照

修理作品の概要

江戸琳派を代表する画家酒井抱一が描いた60面セットの扇面画。いずれも折り目がないので、実際の扇に仕立てられていたものではなく、もとは屏風に貼られていたものと想像される。草花、草木を描いた着色画が約半数を占めるが、鳥、動物、魚、昆虫のほか、水墨の竹図や山水図なども含まれ、題材や手法の多様さがうかがえる。抱一はさまざまな流派の師について学んでおり、本作はそうした抱一の作画の主題、技法の幅の広さを具体的にうかがえる作例といえ貴重である。

修理前の状態

絵具の剥落、地塗りの雲母の剥落が生じていた。汚れ、しみ、虫損がみられた。本紙が肌裏紙から浮いており、本紙周囲に糊焼けがみられた。ガラス板に本紙が密着しており、保管上好ましくない状態にあった。

修理仕様

1. 修理前調査

修理前の状態を調査・記録し、写真撮影、赤外線撮影を行なった。絵具や雲母の定着具合や汚れの移り具合を調べ、修理の作業順序や方法を検討した。

2. 解体

本紙を裏打紙の付いた状態で台紙から取り外した。

3. 剥落止め

修理作業中に絵具の剥落の危険が心配される箇所のみ、牛膠水溶液3～5%（重量比）にて剥落止めを行なった。本紙が相剥ぎになり、切れて口が開いた箇所

の隙間に、新糊とフノリの混合糊を差し入れて軽く圧をし、接着した。

4. 本紙裏面に付着した銀箔の除去

裏打ちされた本紙裏面周囲には、台紙の銀箔が付着しており、銀箔を残したまま裏打ちをすると裏打紙が浮いてしまうため、付着した銀箔を除去した。

5. 旧糊層の除去

本紙周囲に残った糊層を除去した。

6. 新規裏打ち

新糊を用い、本紙に薄美濃紙にて4回の裏打ちをし、仮張り乾燥した。

7. 裏打紙の裁断

本紙裏打紙の周囲を裁ち落とし、寸法を整えた。

8. 台紙の作製

本紙を安全に平らに保管できるよう、中性紙ボードで落とし込みのマットを作製し、中性紙の保護用カバーを取り付け、台紙を作製した。

9. 仕上げ

本紙裏打紙の四辺を、ヒンジ（楮紙〈八女産〉）で新糊を用いて台紙に留め付けた。

10. 収納

アーカイバルボードにて保存箱を作製し、台紙を重ねて収納した。保存箱は、すでに修理を終え納品された分の箱に做った。

11. 修理後記録

修理全般に関する記録を修理報告書にまとめた。

特記事項

1. 本作品には2回、裏打ちがされており、一部肌裏紙からの浮きがみられるものもあった。今回は、マット装で平らに保存する前提のもと、旧裏打紙を除去せずに新規裏打ちをした。なお、今期分の15紙は、旧裏打紙に残った糊層が厚く、残したまま裏打ちを施すと、仕立ての後も本紙のたわみなどの不具合が起きる可能性が考えられたため、15紙すべての糊層を除去し、新規に裏打ちを行なった。

2. 旧台紙の裏面に貼られたラベルを外し、新規に薄美濃紙にて裏打ちをして、新規マットの内側右下に新糊を用いて貼付した。

修 理 者 株式会社 半田九清堂

代表取締役 半田昌規

担 当 者 半田昌規、下田純平、土屋三恵、伊東静穂、正宗美佳

修理価格 2,990,680円（本格修理費）

修理期間 令和元年10月1日より令和4年9月30日

法量				
作品名	修理前（縦×横）		修理後（縦×横）	
	本紙	台紙	本紙	台紙
①譲葉	19.7×51.3	36.2×63.6	19.7×51.4	42.7×67.9
②墨竹	18.9×50.3	36.2×63.6	19.3×50.4	42.7×67.9
③茄子に蟋蟀	19.4×50.6	36.2×63.5	19.4×50.7	42.7×67.9
④結び椎茸	19.4×50.1	36.2×63.5	19.4×50.2	42.7×67.9
⑤大根に河豚	19.5×50.7	36.2×63.6	19.5×50.9	42.7×67.9
⑥めだか	19.4×50.7	36.2×63.6	19.5×50.8	42.7×67.9
⑦藁屋根に夕顔	19.3×51.2	36.2×63.6	19.4×51.2	42.7×67.9
⑧浜松	19.4×51.0	36.2×63.6	19.4×51.1	42.7×67.9
⑨蓬莱山	18.9×49.8	36.2×63.6	19.0×49.9	42.7×67.9
⑩田園風景	19.3×51.2	36.2×63.8	19.4×51.3	42.7×67.9
⑪ごまめと水引	18.9×50.8	36.1×63.4	19.0×51.0	42.7×67.9
⑫鶯笛と若菜	19.5×50.7	36.2×64.5	19.5×50.9	42.7×67.9
⑬稗苳	19.4×50.5	36.2×63.6	19.5×50.6	42.7×67.9
⑭五徳と羽根箒	19.5×51.0	36.1×63.4	19.6×51.1	42.7×67.9
⑮籠に雪紅葉	19.6×51.2	36.4×63.6	19.6×51.3	42.7×67.9

表1 扇面雑画 法量（修理前、修理後）



①修理前 譲葉



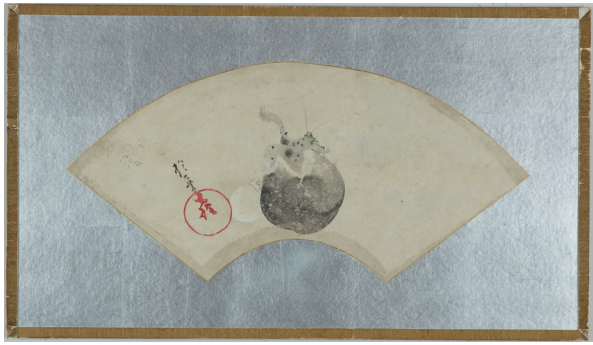
①修理後 譲葉



②修理前 墨竹



②修理後 墨竹



③修理前 茄子に蟋蟀



③修理後 茄子に蟋蟀



④修理前 結び椎茸



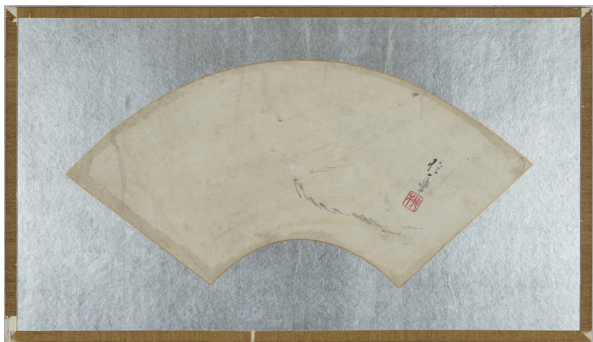
④修理後 結び椎茸



⑤修理前 大根に河豚



⑤修理後 大根に河豚



⑥修理前 めだか



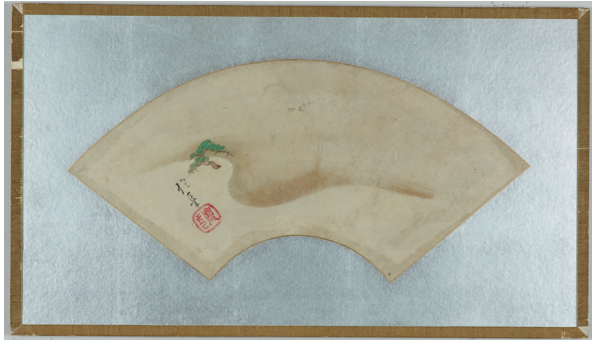
⑥修理後 めだか



⑦修理前 薬屋根に夕顔



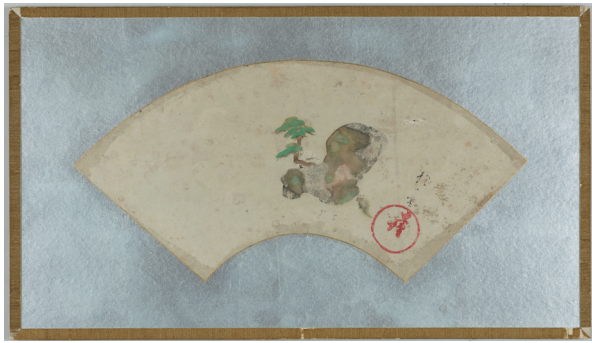
⑦修理後 薬屋根に夕顔



⑧修理前 浜松



⑧修理後 浜松



⑨修理前 蓬莱山



⑨修理後 蓬莱山



⑩修理前 田園風景



⑩修理後 田園風景



⑪修理前 ごまめと水引



⑪修理後 ごまめと水引



⑫修理前 鶯笛と若菜



⑫修理後 鶯笛と若菜



⑬修理前 稗蒔



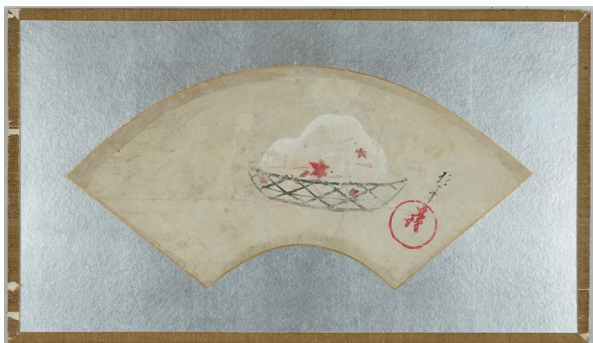
⑬修理後 稗蒔



⑭修理前 五徳と羽根箒



⑭修理後 五徳と羽根箒



⑮修理前 籠に雪紅葉



⑮修理後 籠に雪紅葉



銀箔除去前 茄子に蟋蟀



銀箔除去後 茄子に蟋蟀

品 質 綾(絹)

法 量 修理前 身丈 145.3 桁 63.0

修理後 身丈 145.5 桁 62.8

修理作品の概要

白綾地(絹)に菊、萩、桔梗、芒といった秋草を墨と藍を基調として描きたいわゆる描繪小袖。付属する文書により、宝永年間(1704~11)、尾形光琳が江戸での寄居先であった深川の材木商、冬木屋の妻女のために描き与えたと伝えられる。その由来に因んで「冬木小袖」の名称で親しまれる。17世紀末から18世紀前半にかけて、裕福な町人の間では、有名な画家に直接描かせた小袖が流行した。池田孤村が編集した『光琳新撰百図』(元治元年〈1864〉)にも掲載されている。

修理前の状態

表地は絹経六枚綾織地、裏地は絹平織地を用い、裾襷と袖襷に真綿を入れた袷仕立てであった。当館所蔵後に裏地を新調して袷仕立てにした経歴があり、おそらく同時期に表地の修理が施されたと考えられる。表地は、裏面全体に表地と似寄りの色の絹平織地(以下、全体補修裂)と、部分的に絹の平織、綾織地があてられていた。さらに、表地に似寄りの白色を中心に一部黒、青色の絹糸を用いて無数に補修され、全体補修裂に縫い留められていた(以下、旧補修)。表地は経年劣化で綾織地全体に経糸の断裂が生じていた。とくに両前身頃脇に、旧修理による絹平絹が入っており、模様部にも修理糸が広範囲にわたって細かく施されていた。肩山にも全体に断裂がみられた。

修理仕様

1. 調査

写真記録、マイクロスコープ撮影を行ない、品質形状、寸法、仕立て方、損傷の状態、旧補修について観察して、修理方針、方法を決定した。

2. 解体

構造調査のため、先行して右前身頃の衿と前身頃の裾の仕立て糸を解体した。衿と身頃の裾縫代より、隠れていた絵画表現を発見した。表地と裏地を縫い合わせていた仕立てをすべて解体し、旧修理の裏地(旧裏地)を取り外した。仕立て糸を解体する際は、糸を短く切り、再び仕立てる際の目印にするために可能なかぎりそのまま表地に残した。表地に縫われていた旧補修糸のうち、絵画表現上にあった糸を取り外した。

3. 洗浄(表面清掃)

脆弱化した表地の損傷につながるため、水や溶剤を使用した汚れやしみに対する処置は行なわず、表面的な

付着物などをピンセットで取り除いた。

4. 強化・整形

〈補修補強材料作製〉

本修理で用いる絹糸、絹地は、作品の風合いや取り扱い時の動きに馴染むこと、また保存性が高いことを考慮した。糸は非加熱保存で手繰りを含み、生地は織り上がりまで手作業を主とした方法を組み合わせて、勝山織物株式会社絹織製作研究所にて作製した。表地補修糸は絹(練糸)を使用した。旧補修の全体補修裂のしみ部にあてる補修裂は絹(生絹)を化学染料(酸性染料)で染色した。薄黄赤色に漉き染めされた極薄楮紙にフノリ水溶液を均一に塗布し、フノリシートを作製した。

〈加湿整形〉

湿らせた紙を用いて折れ皺部分に親水性の低い紙(サンモア)越しに湿り気を与えた後、その湿り気を吸水紙に移して重しにて押し、折れ山を緩和した。

〈補修補強〉

表地の補修について、肩山部の旧補修でみられるようなカウチングステッチは視覚的に目立つため本修理では用いず、並縫いの目のように補修糸をかけた。全体補修裂は表地から外さない方針となったため、フノリシートはおもに表地欠損部から挿入し、表地、シート、補修裂の3層が接着される状態となった。筆で湿りを与えた後に押しをかけて、接着補強を施した。接着補強をした周囲に対しては、補修糸をかけて安定化させるとともに、接着部とそうでない部分との補強度の差を軽減させた。旧補修の全体補修裂について、しみにより局所的に硬化を伴う劣化をしている箇所のうち、本修理にて新たな補修糸をかける範囲内にあるものを対象に、作製した補修裂を部分的に裏面に縫いあてて補強した。

5. 仕立て

〈材料作製〉

仕立て材料は、勝山織物株式会社絹織製作研究所にて作製した。新調裏地の絹(生絹)を採用し、織設定は真綿の摩擦によって表地の補強効果が上がることや、生地感を可能なかぎり江戸時代の紅絹裏に近付けることを目的とした。薄手で柔らかな風合いの生地を想定し、柔らかさを出すために湯通しや砑打ちにて仕上げを行ない、風合いの調節をした。袖口覆輪地には絹(生絹)を採用し、織設定は光沢のある縹子織とし、可能なかぎり柔らかな風合いを出すために湯通しや砑打ちにて仕上げを行ない、風合いの調節をした。仕立糸には絹を採用し、表地と新調裏地に対して負荷の少ない太さに設定し、株式会社社松鶴堂にて撚りの強さを調節して作製した。中綿には絹を採用し、非加熱保存

の繭を用いて藁灰による精練を施した袋真綿を作製した。新調裏地の色は、江戸時代の小袖の他作品の裏地を参考に、仕立て後に全体補修裂、中綿、表地と重なった時のみえ方も考慮した色味を検討して薄紅色に酸性染料で染色した。袖口覆輪地の色は、江戸時代の小袖や江戸時代中期の浮世絵作品を参考に、表地の袖口からみえた際に視覚的に馴染みのよい墨色に協議のうえ決定し、酸性染料で染色した。

〈仕立て〉

表地は、修理前の旧針穴をたどり仕立てた。針穴周辺は脆弱化しているため、ひと目ずつ糸の引き加減を調整しながら縫い進めた。裏地は表地の寸法を基準とし、表地に添うように小袖の形に仕立てた。衣桁展示に備えて全体の仕立ての安定をはかるため、本修理では新たに衿付けと背縫いの交点、左右衿の剣先の3か所に、表地全体補修裂と裏地をすくって、仕立糸で留めを入れた。修理前の旧針穴をたどり、表地と裏地の縫代を綴じ合わせた。その際、綿も一緒にすくうように修理前の旧針穴をたどり、表地と裏地の縫代を綴じ合わせた。

6. 収納

衿肩明きの衿山を内側に折って左右を打ち合わせ、袖付けで一折りする畳み方とした。ポリエステルフェル

トを絹羽二重で包んだ台形の枕を二つ作製し、衿山左右の畳み山に納めた。左右の袖付けには、大きめの四角い枕を一つ作製して納めた。絹羽二重製たとうを作製した。底面には紙目を変えたCXD製プレミアム・コルゲートボード5mm厚、2枚を入れて縫い綴じた。底面裏側には持ち手紐を2か所縫い付けた。作品衿側の短辺は、直接前身頃にのせるため生地端が表地に当たって擦れないように、台紙大の羽布を付ける仕様とした。コルゲートボード製の保存箱の内側の面には中性紙を貼る仕様とした。保存箱は2段式とし、底面に同素材の棧を付けて棧の間に旧裏地を納め、棧の上に作品を入れた、たとうをのせる仕様で作製した。

7. 修理後記録

修理全般に関する記録を修理報告書にまとめた。

修 理 者 株式会社 松鶴堂

代表者 橋本浩

担 当 者 野尻久美子、城山好美、依田尚美、岡稔子、
竹口杏香、森田健介

修理価格 10,841,313円（文化財活用センター クラウドファンディング）

修理期間 令和3年1月1日より令和5年3月31日



修理前 前面



修理後 前面



修理前 背面



修理後 背面



修理前 左前身頃



修理前 右前身頃
菊葉脈金泥部の表地経糸の欠失



修理後 左前身頃



修理後（接着補強後） 右前身頃
菊葉脈金泥部の表地織り糸が安定した様子



修理後 左衿
左右の衿山に枕を納めた様子



袖付け用枕



衿山用枕



保存箱



保存箱 下段
薄葉紙に包んだ旧裏地を納めた様子

品 質 平絹、纈纈

法 量 修理前 縦 21.9 横 28.7

修理後 縦 21.8 横 55.8 (I-337-6、I-337-7)

修理作品の概要

黄色に染めた裂を摘んで糸などで括って絞り、その後、藍で染め、目結文を斜めに連続してあらわした纈纈。現状では、全体がやや茶色味を帯びる。一方には織耳が残る。

修理前の状態

作品はガラス板挟みの状態。ガラス板の縁紙の1辺が剥がれて欠失していた。作品は織耳近くに欠損がみられ、中ほどにも亀裂と小欠損があった。色焼けにより茶色味を帯びているところが多くみられた。

修理仕様

1. 修理前の調査・記録

修理前の作品の状態を調査・記録し、ガラス板挟みの状態で表裏の写真撮影を行なった。

2. ガラスの解体

縁の側面部分（3辺）の和紙を刃物で切り、ガラスを開け、裂の表面に楮紙をあててガラス面から裂を外した。

3. 強化・成形

裂の裏面からろ過水を噴霧して、筆とピンセットを用いて裂の糸目を揃えた。なお、調査の結果、I-337-7と連続することが判明したので、合わせて1枚のマット装にした。

4. 仕上げ

低加圧ウィンドウ・マット装を新調した。ポリエステル製綿のクッションを作品の形状と厚みに合わせて高さを調整し、全体をオーガニック・コットンで包んだ。これを中性紙で作った浅箱に入れ、くぼみに合わせて作品を納めた。なお、オーガニック・コットンに作品の繊維がくい込むのを防ぐため、作品より一回り大きく楮紙を切り、下に敷いて支持体とした。そのうえでアクリルボードを嵌め込み、周囲をネジで固定した。アクリルボードの圧力は作品周囲のクッションが受け、作品自体にかかる圧力を低くした。最後に、上から中性紙の窓枠を開けたウィンドウ・マットを被せて仕上げた。（20ページの修理後写真参照）

修 理 者 東京国立博物館客員研究員：沢田むつ代
装演技術者：株式会社 修護 井上さやか
修理技術者：米倉乙世

修理価格 77,000 円（I-337-6、7の合計材料費、本格修理費）

修理期間 令和3年8月2日より令和4年6月30日



修理前

品 質 平絹、纈纈

法 量 修理前 縦 20.4 横 28.3

修理後 縦 21.8 横 55.8 (I-337-6、I-337-7)

修理作品の概要

黄色に染めた裂を摘んで糸などで括って絞り、その後、藍で染め、目結文を斜めに連続してあらわした纈纈。現状では、全体がやや茶色味を帯びる。一方には織耳が残る。

修理前の状態

作品はガラス板挟みの状態。織耳近くに欠損がみられ、

中ほどにも亀裂と小欠損があった。色焼けにより茶色味を帯びているところが多くみられた。

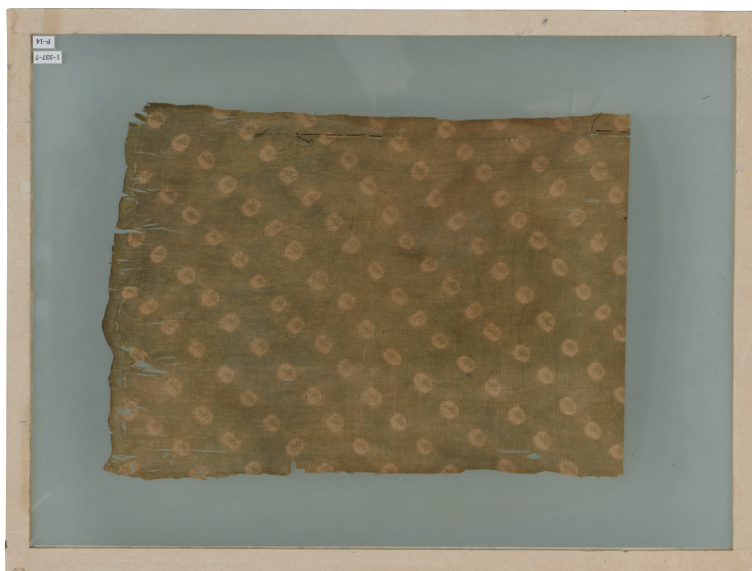
修理仕様

I-337-6 に同じ。

修 理 者 東京国立博物館客員研究員：沢田むつ代
装 潢 技 術 者：株式会社 修護 井上さやか
修 理 技 術 者：米倉乙世

修理価格 77,000 円 (I-337-6、7 の合計材料費、本格修理費)

修理期間 令和3年8月2日より令和4年6月30日



修理前



修理後 右 I-337-6、左 I-337-7

品質 平絹、葛縵

法量 修理前 縦 13.0 横 15.3

修理後 縦 12.8 横 15.3

修理作品の概要

茶地に白・黄・緑で霞襷のなかに鳥文を葛縵であらわした残欠。霞襷は、細長い線で四菱風に平行に並べたものと四弁花文を交互に襷状にあらわす。内部には姿態の異なった2種類の鳥文を置く。両者の鳥は類例の霞襷鳥文のなかでものびやかで躍動感に満ちた優品である。なお、正倉院には同裂を用いた袍が伝えられている。

修理前の状態

作品はガラス板挟みの状態。I-337-48～50の3点が一緒に1枚のガラス板に挟まれていた。作品には破損、欠損があった。

修理仕様

1. 修理前の調査・記録

修理前の作品の状態を調査・記録し、ガラス板挟みの状態で表裏の写真撮影を行なった。

2. ガラスの解体

縁の側面部分(3辺)の和紙を刃物で切り、ガラスを開け、ガラスの面に本体が貼り付いていないかを確認した。作品がガラス面に強固に貼り付いており、竹ペラでも剥がすことができなかった。このため、精製水を含ませて剥がしながら楮紙に移した。

3. 強化・成形

裂の裏面からろ過水を噴霧して、筆とピンセットを用いて裂の糸目を揃えた。この作業の際、水溶性の汚れを下に敷いた楮紙に移動させる方法で除去した。楮紙を用いて新糊で裏打ちを行なった。裏打ちした裂を、吸水紙を敷いた板に挟んで乾燥させた。

4. 仕上げ

新調した中性紙マットを用いて、ウィンドウ・マット装(3層構造、1層目は窓枠を開けた上面、2層目は作品を貼り込んだ中間、3層目は厚み補強の下面)に仕立て、中性紙の覆いを付けた。

修理者 東京国立博物館客員研究員：沢田むつ代
装潢技術者：株式会社 修護 井上さやか
修理技術者：米倉乙世

修理価格 2,000円(材料費、本格修理経費)

修理期間 令和3年8月2日より令和4年6月30日



修理前 右 I-337-50、中央 I-337-49、左 I-337-48



修理後

品質 平絹、葛縵

法量 修理前 縦 18.5 横 9.1

修理後 縦 18.3 横 9.4

修理作品の概要

緑地に黄で霞襷のなかに何種類かの鳥文を葛縵であらわした残欠。鳥文は蠟で文様がつぶれており、不鮮明な部分もみられる。霞襷は細長い線で四菱風に平行に並べたものと四弁花文を交互に襷状にあらわす。内部には異なった姿態の鳥文を置く。

修理前の状態

作品はガラス板挟みの状態。I-337-48～50の3点が

一緒に1枚のガラス板に挟まれていた。作品には小破損があった。(21ページの修理前写真参照)

修理仕様

I-337-6に同じ。

修理者 東京国立博物館客員研究員：沢田むつ代
装幀技術者：株式会社 修護 井上さやか
修理技術者：米倉乙世

修理価格 30,000円（材料費、本格修理経費）

修理期間 令和3年8月2日より令和4年6月30日



修理後

品 質 平絹、蒔縹

法 量 修理前 縦 9.7 横 4.3

修理後 縦 9.2 横 4.2

修理作品の概要

紫地に黄で波のような文様を蒔縹であらわした残欠。
小片のため文様の全体像は不明。

修理前の状態

作品はガラス板挟みの状態。I-337-48～50 の 3 点が
一緒に 1 枚のガラス板に挟まれていた。作品には破損、
欠損があった。(21 ページの修理前写真参照)

修理仕様

1. 修理前の調査・記録

修理前の作品の状態を調査・記録し、ガラス板挟みの

状態で表裏の写真撮影を行なった。

2. ガラスの解体

縁の側面部分（3 辺）の和紙を刃物で切り、ガラスを
開け、ガラスの面に強固に本体が貼り付いていないか
を確認した。裂がガラス面に貼り付いており、竹ペラ
を使っても剥がれなかった。そこで、ろ過水で湿らせ
て慎重にガラス面から剥がした。

3. 強化・成形

I-337-48 に同じ。

修 理 者 東京国立博物館客員研究員：沢田むつ代
装潢技術者：株式会社 修護 井上さやか
修理技術者：米倉乙世

修理価格 2,000 円（材料費、本格修理経費）

修理期間 令和 3 年 8 月 2 日より令和 4 年 6 月 30 日



修理後

品 質 平絹、蒨縵

法 量 修理前 縦 29.2 横 23.2

修理後 縦 29.0 横 23.2

修理作品の概要

緑地に白で2種類の草花文を互の目に蒨縵であらわし、両側を三つ折り縫いにした残欠。草花文は丸味を帯びたものと、先端を尖らせたものがある。幅が広いので幡足の可能性も考慮される。

修理前の状態

作品はガラス板挟みの状態。小破損と欠損があり、一

方の端に色焼けしているところがみられた。

修理仕様

I-337-48 に同じ。

修 理 者 東京国立博物館客員研究員：沢田むつ代
同館研究員：佐藤萌
装潢技術者：株式会社 修護 井上さやか
修理技術者：米倉乙世

修理価格 50,000 円（材料費、本格修理経費）

修理期間 令和3年8月2日より令和4年6月30日



修理前



修理後

品 質 平絹、葛縵

法 量 修理前 縦 23.4 横 14.0

修理後 縦 23.3 横 13.7

修理作品の概要

淡青地に 2 種類の草花文を葛縵であらわし、両側を三つ折り縫いにした残欠。文様は I-337-54 に近似する。こうした仕立ては法隆寺献納宝物の幡足と正倉院の腰袷（腰から複数垂らす短冊状の飾り）などにみられる。裂幅や献納宝物の幡足は葛縵を用いないことを考慮すると、腰袷の可能性が高い。

修理前の状態

作品はガラス板挟みの状態。作品は破損、欠損、亀裂

がある。一部退色もみられた。

修理仕様

I-337-48 に同じ。本作品は一部がガラス面に貼り付いていたので、ネブライザーで少しずつ湿りを与えながら慎重に剥がした。

修 理 者 東京国立博物館客員研究員：沢田むつ代

装潢技術者：株式会社 修護 井上さやか

修理技術者：米倉乙世

修理価格 30,000 円（材料費、本格修理経費）

修理期間 令和 3 年 8 月 2 日より令和 4 年 6 月 30 日



修理前



ネブライザーによる部分処置



修理後

品 質 平絹、夾纈、羅

法 量 修理前 縦 40.8 横 27.0

修理後 縦 39.0 横 26.7

修理作品の概要

経糸と緯糸の隙間を空けて織った淡茶地の箴目の平絹に、赤・青緑・黄・白で多方向からみた花文と葉文からなる集花葉文を夾纈であらわした残欠。なお、両側に紫地羅の縁を付けている。

修理前の状態

作品はガラス板挟みの状態。裂は破損、欠損が多く、かなり劣化していた。また、両側の紫地羅の縁は欠損が多く、一方の側はほとんど欠失していた。

修理仕様

I-337-6 に同じ。本作品は一部がガラス面に貼り付いていたので、くさびを入れて少しガラスを開け、竹ペラなどを用いて慎重に剥がした。その後、糸目を揃えて形を整えた。なお、裂が薄く、損傷が多いため、裏打ちを行なった後に低加圧ウィンドウ・マット装にした。

修 理 者 東京国立博物館客員研究員：沢田むつ代
装潢技術者：株式会社 修護 井上さやか
修理技術者：米倉乙世

修理価格 50,000 円（材料費、本格修理経費）

修理期間 令和 3 年 8 月 2 日より令和 4 年 6 月 30 日



修理前



修理後



ガラス板に貼り付いている裂を竹ペラで落としながら少しずつ裂をガラス面から外す



裂の糸目を筆などで揃えながら文様を合わせる



裏打ち

品 質 平絹、夾纈、羅

法 量 修理前 縦 40.8 横 26.6

修理後 縦 39.7 横 26.0

修理作品の概要

経糸と緯糸の隙間を空けて織った淡茶地の箴目の平絹に、赤・青緑・黄・白でやや大柄の集花葉文を夾纈であらわした残欠。集花葉文は二重の八弁花の周りに側花文と葉文で囲まれた蕾様の文様を廻らす。なお、両側に紫地羅の縁を付けている。

修理前の状態

作品はガラス板挟みの状態。裂は破損、欠損が多く、

かなり劣化していた。また、両側の紫地羅の縁は欠損があり、劣化が進んでいるようにみえた。

修理仕様

I-337-89 に同じ。

修 理 者 東京国立博物館客員研究員：沢田むつ代
装 潢 技 術 者：株式会社 修護 井上さやか
修 理 技 術 者：米倉乙世

修理価格 50,000 円（材料費、本格修理経費）

修理期間 令和3年8月2日より令和4年6月30日



修理前



修理後

品質 平絹、夾纈、羅

法量 修理前 縦 40.0 横 25.0

修理後 縦 39.0 横 24.7

修理作品の概要

茶地菱入襷文羅に、赤茶・淡赤・黄・緑・白で複雑な花文をあらわした残欠。かなり大型の文様であるため全容が把握できず、かつ退色も進んでいるが、曲線的な葉文の両側に花文を配しているようである。

修理前の状態

作品はガラス板挟みの状態。裂は破損、欠損があり、とくに紫地羅の緑が傷んでいた。I-337-89やI-337-90程ではないが裂の劣化が進んでいた。

修理仕様

I-337-6に同じ。ただし、本作品は一部がガラス面に貼り付いていたので、くさびを入れて少しガラスを開け、竹べらなどを用いて慎重に剥がしていった（I-337-89参照）。緑の部分が剥がれなかったため、後から別に剥がした。その後、糸目を揃えて形を整えた。剥がしきれなかった紫地羅は後で元に戻した。なお、裂が薄く、損傷が多いため、裏打ちを行なった後に低加圧ウィンドウ・マット装にした。

修理者 東京国立博物館客員研究員：沢田むつ代

装演技術者：株式会社 修護 井上さやか

修理技術者：米倉乙世

修理価格 50,000 円（材料費、本格修理経費）

修理期間 令和3年8月2日より令和4年6月30日



修理前



修理後

品質 絹、綾、錦

法量 修理前 縦 33.7 横 27.0

修理後 縦 34.2 横 27.3

修理作品の概要

紫地に経四枚綾地緯四枚綾文綾で旋回する瑞雲円内に文様をあらわした残欠であるが、破損、欠損が著しく、詳細は判然としない。正倉院に残る他の類例から推測すると鹿に乗る仙人をあらわした文様のようと思われる。先端を鈍角にした小札状で、両側と下方にバイアス状に裁断した暈縹文の浮文錦の縁を廻らす。正倉院に残る類例の形状から天蓋垂飾に用いられたと考えられる。

修理前の状態

作品はガラス板挟みの状態。ガラス内面には白いくもりが作品の周りを取り囲んでいた。なお、反対面には遊離した残欠が移動しているところが認められた。

修理仕様

I-337-6に同じ。ただし、本作品は一部がガラス板面に貼り付いていたので、くさびを入れて少しガラスを開け、竹ペラなどを用いて慎重に剥がしていった（I-337-89参照）。その後、遊離した残欠を元の位置に戻して、全体の糸目を揃えながら形を整え、裏打ちを施した。裏打紙は縁の錦が良好だったことから、全面を裏打ちせず、裏打紙を喰い裂きにし、外側の裏打紙を除去した。なお、縁に用いられた錦に多少の厚みがあることから、この部分のオーガニック・コットンの厚みを調整して低加圧ウィンドウ・マット装にした。

修理者 東京国立博物館客員研究員：沢田むつ代
装演技術者：株式会社 修護 井上さやか
修理技術者：米倉乙世

修理価格 50,000 円（材料費、本格修理経費）

修理期間 令和3年8月2日より令和4年6月30日



修理前



修理後

品質 絹、綾、錦

法量 修理前 縦 39.8 横 26.0

修理後 縦 39.0 横 26.4

修理作品の概要

紫地に経四枚綾地緯四枚綾文綾で旋回する瑞雲に囲まれた円内に鳥のような文様をあらわした残欠と思われるが、破損、欠損による損傷が著しく、詳細は判然としない。

下方は緩いカーブを描いた小札状で、両側と下方をバイアス状に裁断した、元は紅色と思われる淡茶地唐花文の複様綾組織緯錦（緯三枚綾）の縁を廻らす。形状から I-337-134 同様、天蓋垂飾に用いられたと考えられる。

修理前の状態

作品はガラス板挟みの状態。一方の縁を除いて内部は上半分を欠失する。残っている部分も破損、欠損があ

り、遊離した残欠が内部で移動して重なっているところがみられた。

修理仕様

I-337-6 に同じ。ただし、本作品は遊離した残欠を元の位置に戻して、全体の糸目を揃えながら形を整え、全体を裏打ちした。裏打紙は縁の錦が良好だったことから、この部分は裏打紙を喰い裂きにし、外側の裏打紙を除去した。なお、縁に用いられた錦に多少の厚みがあることから、この部分のオーガニック・コットンの厚みを調整して低加圧ウィンドウ・マット装にした。

修理者 東京国立博物館客員研究員：沢田むつ代
装演技術者：株式会社 修護 井上さやか
修理技術者：米倉乙世

修理価格 50,000 円（材料費、本格修理経費）

修理期間 令和3年8月2日より令和4年6月30日



修理前



修理後

15 きじはなからくさもんあや 黄地花唐草文綾 I-337-136 1枚 奈良時代・8世紀 正倉院伝来

品質 絹、綾

法量 修理前 縦 16.1 横 24.3

修理後 縦 16.2 横 24.5

修理作品の概要

黄地に経四枚綾地緯四枚綾文綾で花唐草文をあらわした残欠。花唐草文は四隅に蕨手風の唐草を伴った立涌状の唐草のなかに、種類の異なる文様を横に連続する。

修理前の状態

作品はガラス板挟みの状態。I-337-136 が裏向き、I-337-137 が表向きとなり 2 点と一緒に 1 枚のガラス板

に挟まれていた。作品は一部に亀裂があるものの、比較的良好であった。

修理仕様

I-337-6 に同じ。修理後は表向きに修正した。

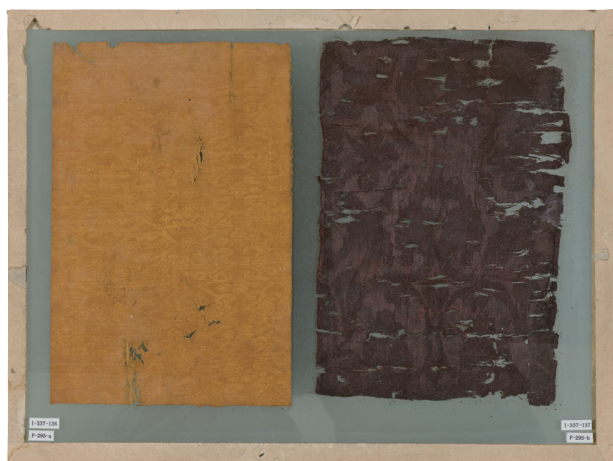
修理者 東京国立博物館客員研究員：沢田むつ代
同館研究員：佐藤萌

装潢技術者：株式会社 修護 井上さやか

修理技術者：米倉乙世

修理価格 50,000 円（材料費、本格修理経費）

修理期間 令和 3 年 8 月 2 日より令和 4 年 6 月 30 日



修理前 右 I-337-137、左 I-337-136



修理後

品質 絹、綾

法量 修理前 縦 24.4 横 15.9

修理後 縦 24.0 横 16.5

修理作品の概要

両側を三つ折り縫いにした残欠。両側の仕立てから幡の幡足と考えられる。紫地に経四枚綾地緯四枚綾文綾で、やや大柄な唐草風の文様と鳥のような文様をあらわしているようにみえるが、破損や文様の崩れなどで全容は判然としない。

修理前の状態

作品はガラス板挟みの状態。I-337-136、137の2点と一緒に1枚のガラス板に挟まれていた。破損と亀裂が多くみられた。この種の色の裂は劣化がみられるこ

とが多いが、ガラスを開けてみないとわからない状況だった。(32ページの修理前写真参照)

修理仕様

I-337-48に同じ。本作品はガラスを開けたところ、裂の表面は想定以上に粉状化しており、ガラス片面に密着し、剥がすことが困難であった。直接本体と文様が繋がらなかった残欠は、ごくわずかに本体より離して右側下方に配置した(修理後写真を参照)。

修理者 東京国立博物館客員研究員：沢田むつ代

装潢技術者：株式会社 修護 井上さやか

修理技術者：米倉乙世

修理価格 2,000円(材料費、本格修理経費)

修理期間 令和3年8月2日より令和4年6月30日



修理前 文様が繋がらない残欠



修理後

品質 絹、錦

法量 修理前 縦 25.2 横 27.1

修理後 縦 25.0 横 27.1

修理作品の概要

紫地に黄で主文は線描的にあらわされた円形の唐花文、副文は十字形の花文を互の目にあらわした複様綾組織緯錦（緯三枚綾）の残欠。一方は織耳が残っている。

本作品のような錦は正倉院では多方面に用いられている。

修理前の状態

作品はガラス板挟みの状態。破損、欠損と亀裂、退色がみられた。また、表面にカビのような汚れが付着し

ていた。

修理仕様

I-337-48に同じ。ただし、本作品は一部がガラス面に貼り付いていたので、くさびを入れて少しガラスを開け、竹ペラなどを用いて慎重に剝がしていった。その後、糸目を揃えて形を整えた。

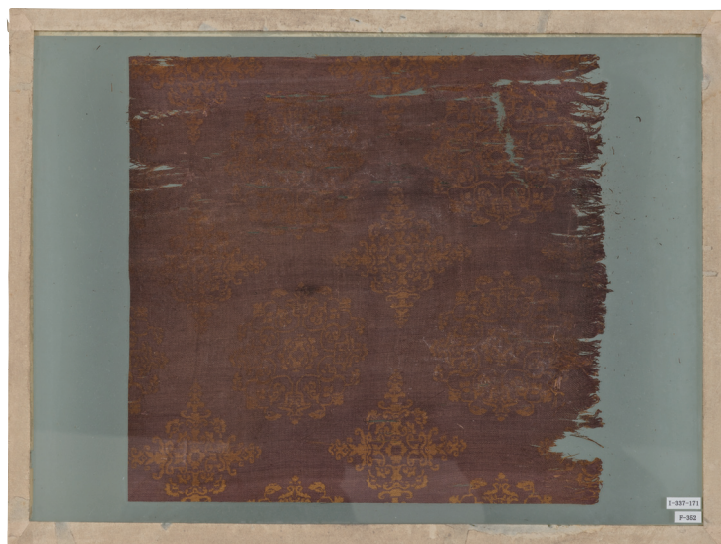
修理者 東京国立博物館客員研究員：沢田むつ代
同館研究員：佐藤萌

装潢技術者：株式会社 修護 井上さやか

修理技術者：米倉乙世

修理価格 4,000 円（材料費、本格修理経費）

修理期間 令和3年8月2日より令和4年6月30日



修理前



修理後

品 質 絹、錦

法 量 修理前 縦 17.8 横 17.3

修理後 縦 17.3 横 17.3

修理作品の概要

黄地に白茶・青緑・紫で、主文は縦長の四稜形をした唐花文、副文には十字形花文を互の目に配した複様綾組織緯錦（緯三枚綾）で織り出した帯状の残欠。下方を稜形とし、それに沿うように別裂の緯錦で縁を飾っている。その飾りの周囲に細い濃紫地綾の縁を廻らす。なお、中央には濃紫地綾の細い帯を付ける。

修理前の状態

作品はガラス板挟みの状態。縁に用いられている濃紫

地綾の損傷が著しく、一部は当初の位置から外れて遊離している残欠もあった。なお、ガラス内面にくもりと水滴のようなものが付着していた。

修理仕様

I-337-6に同じ。縁の濃紫地綾の劣化が著しいので、メチルセルロース（メトロース[®] SM-4000）1%水溶液を塗布して安定させた。

修 理 者 東京国立博物館客員研究員：沢田むつ代
装演技術者：株式会社 修護 井上さやか
修理技術者：米倉乙世

修理価格 50,000 円（材料費、本格修理経費）

修理期間 令和3年8月2日より令和4年6月30日



修理前



修理後

品質 絹、錦

法量 修理前 縦 16.0 横 17.3

修理後 縦 16.1 横 17.0

修理作品の概要

紫と緑の幅広の縞と白の細い縞を交互に配し、それぞれの間には赤地に黄で小さな連珠文の細い縞を並べた、帯状の残欠。幅広の縞には黄・赤・白・茶・縹・紫で四弁花と花のようなものを啄んでいる二羽の鳥文を複様綾組織緯錦（緯三枚綾）であらわす。

修理前の状態

作品はガラス板挟みの状態。I-337-173と同様な形状である。縁に用いられている濃紫地綾の損傷が著しく、一部は当初の位置から外れて遊離している残欠もあった。本体の下方に飾られている別の錦は緯糸が大きく湾曲し、下の錦がみえている。なお、ガラス内面にく

もりと水滴のようなものが付着していた。

修理仕様

本作品は裏面がガラス面に貼り付いており、なかなか剥がれなかったので、竹ペラなどで慎重に剥がした。I-337-6、7に同じ。ただし、下方の緯糸が大きく湾曲した錦は、可能なかぎり緯糸の糸目を揃えて文様を合わせた。また、縁の濃紫地綾の劣化が著しいので、メチルセルロース（メトロース® SM-4000）1%水溶液を塗布して安定させた。

修理者 東京国立博物館客員研究員：沢田むつ代
装幀技術者：株式会社 修護 井上さやか
修理技術者：米倉乙世

修理価格 50,000 円（材料費、本格修理経費）

修理期間 令和3年8月2日より令和4年6月30日



修理前



修理後

20 黄地連珠入亀甲繫花文錦幡足垂端飾

I-337-196 1枚 奈良時代・天平勝宝9年(757) 正倉院伝来

品 質 絹、錦

法 量 修理前 縦12.3 横11.5

修理後 縦12.3 横11.4

修理作品の概要

上部をV字形に刳り、下方を稜形とした形状から、聖武天皇の一周忌斎会に用いられた道場幡の幡足垂端飾であることがわかる。本作品には複様綾組織緯錦(緯三枚綾)で織られた黄地連珠入亀甲繫花文錦が用いられている。

修理前の状態

作品はガラス板挟みの状態。I-337-196~201の6点が一緒に1枚のガラス板に挟まれていた。幡足部分に小

破損がみられるが、垂端飾の錦は良好であった。

修理仕様

I-337-6、7に同じ。I-337-196、197の2点を並列して1枚の低加圧ウィンドウ・マット装にした。(38ページの修理後写真参照)

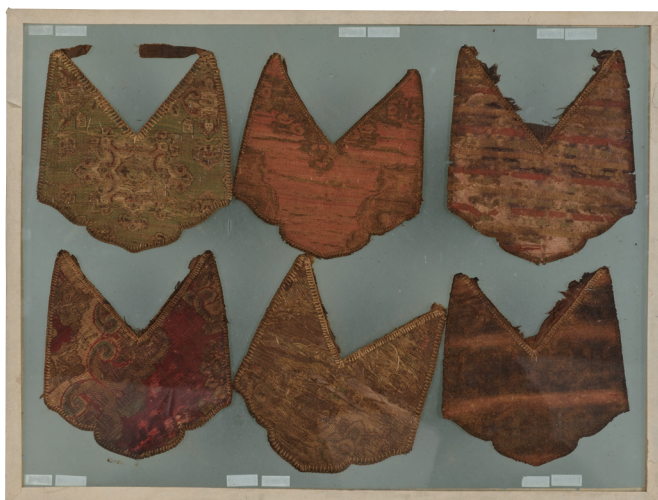
修 理 者 東京国立博物館客員研究員：沢田むつ代
装璜技術者：株式会社 修護 井上さやか
修理技術者：米倉乙世

修理価格 50,000円 (I-337-196、197の合計材料費、本格修理費)

修理期間 令和3年8月2日より令和4年6月30日



修理前 ガラス表面 I-337-196~201
(上段左から199、200、201、下段左から196、197、198)



修理前 ガラス裏面 I-337-196~201
(上段右から199、200、201、下段右から196、197、198)

品 質 絹、錦

法 量 修理前 縦 13.0 横 11.8

修理後 縦 12.6 横 11.5

修理作品の概要

上部をV字形に割り、下方を稜形とした形状から、聖武天皇の一周忌斎会に用いられた道場幡の幡足垂端飾であることがわかる。本作品には複様綾組織緯錦（緯三枚綾）で織られた黄地唐花文錦が用いられている。

修理前の状態

作品はガラス板挟みの状態。I-337-196～201の6点が一緒に1枚のガラス板に挟まれていた。本作品はガラス内でずれて当初の位置から移動していた。垂端飾の錦は小破損と大きな亀裂があり、そこから芯にした和

紙がみえている。(37ページの修理前写真参照)

修理仕様

I-337-6、7に同じ。I-337-197は文様が鮮明で状態のよい方（修理前写真の裏面）を表とした。I-337-196、197の2点を並列して1枚の低加圧ウィンドウ・マット装にした。その際、錦の亀裂を可能なかぎり揃えた。

修 理 者 東京国立博物館客員研究員：沢田むつ代
装潢技術者：株式会社 修護 井上さやか
修理技術者：米倉乙世

修理価格 50,000円（I-337-196、197の合計材料費、本格修理費）

修理期間 令和3年8月2日より令和4年6月30日



修理後 右 I-337-196、左 I-337-197

品質 絹、錦

法量 修理前 縦13.1 横11.7

修理後 縦13.0 横11.6

修理作品の概要

上部をV字形に割り、下方を稜形とした形状から、聖武天皇の一周忌斎会に用いられた道場幡の幡足垂端飾であることがわかる。本作品には複様綾組織緯錦（緯三枚綾）で織られた赤地唐花文錦が用いられている。

修理前の状態

作品はガラス板挟みの状態。I-337-196～201の6点と一緒に1枚のガラス板に挟まれていた。垂端飾の錦は良好であるが、汚損が顕著であった。(37ページの

修理前写真参照)

修理仕様

I-337-6、7に同じ。I-337-198は文様が鮮明で状態のよい方（修理前写真の裏面）を表とした。I-337-198、199の2点を並列して1枚の低加圧ウィンドウ・マット装にした。

修理者 東京国立博物館客員研究員：沢田むつ代
装潢技術者：株式会社 修護 井上さやか
修理技術者：米倉乙世

修理価格 50,000円（I-337-198、199の合計材料費、本格修理費）

修理期間 令和3年8月2日より令和4年6月30日



修理後 右 I-337-199、左 I-337-198

品質 絹、錦

法量 修理前 縦13.5 横11.7

修理後 縦13.4 横11.5

修理作品の概要

上部をV字形に割り、下方を稜形とした形状から、聖武天皇の一周忌斎会に用いられた道場幡の幡足垂端飾であることがわかる。本作品には複様綾組織緯錦（緯三枚綾）で織られた白茶地花文錦が用いられている。なお、上方には紫地綾の幡足がごくわずか残っている。

修理前の状態

作品はガラス板挟みの状態。I-337-196～201の6点が一緒に1枚のガラス板に挟まれていた。本作品は破損、

欠損があり、一部の裂が遊離し、内部の芯紙がみえている。また、汚損もみられた。(37ページの修理前写真参照)

修理仕様

I-337-6、7に同じ。I-337-198、199の2点を並列して1枚の低加圧ウインドウ・マット装にした。

修理者 東京国立博物館客員研究員：沢田むつ代
装潢技術者：株式会社 修護 井上さやか
修理技術者：米倉乙世

修理価格 50,000円 (I-337-198、199の合計材料費、本格修理費)

修理期間 令和3年8月2日より令和4年6月30日



修理後 右I-337-199、左I-337-198

品質 絹、錦

法量 修理前 縦12.4 横11.6

修理後 縦12.1 横11.6

修理作品の概要

上部をV字形に割り、下方を稜形とした形状から、聖武天皇の一周忌斎会に用いられた道場幡の幡足垂端飾であることがわかる。本作品には複様綾組織緯錦（緯三枚綾）で織られた赤地唐花文錦が用いられている。

修理前の状態

作品はガラス板挟みの状態。I-337-196～201の6点が一緒に1枚のガラス板に挟まれていた。垂端飾の錦は良好であった。（37ページの修理前写真参照）

修理仕様

I-337-6、7に同じ。I-337-200は文様が鮮明で状態のよい方（修理前写真の裏面）を表とした。I-337-200、201の2点を並列して1枚の低加圧ウインドウ・マット装にした。

修理者 東京国立博物館客員研究員：沢田むつ代
 装潢技術者：株式会社 修護 井上さやか
 修理技術者：米倉乙世

修理価格 50,000円（I-337-200、201の合計材料費、本格修理費）

修理期間 令和3年8月2日より令和4年6月30日



修理後 右I-337-201、左I-337-200

品質 絹、錦

法量 修理前 縦12.9 横12.0

修理後 縦16.3 横12.6

修理作品の概要

上部をV字形に割り、下方を稜形とした形状から、聖武天皇の一周忌斎会に用いられた道場幡の幡足垂端飾であることがわかる。本作品には複様綾組織緯錦（緯三枚綾）で織られた緑地唐花文錦が用いられている。

修理前の状態

作品はガラス板挟みの状態。I-337-196～201の6点が一緒に1枚のガラス板に挟まれていた。垂端飾の錦は良好であった。なお、幡足の両側に付けられていた縁がわずかに残っていた。(37ページの修理前写真参照)

修理仕様

I-337-6、7に同じ。I-337-201は文様が鮮明で状態のよい方（修理前写真の裏面）を表とした。I-337-200、201の2点を並列して1枚の低加圧ウィンドウ・マット装にした。ただし、幡足の縁が内側に折り曲げられていた部分を伸ばして配置した。

修理者 東京国立博物館客員研究員：沢田むつ代

装潢技術者：株式会社 修護 井上さやか

修理技術者：米倉乙世

修理価格 50,000円（I-337-200、201の合計材料費、本格修理費）

修理期間 令和3年8月2日より令和4年6月30日



修理後 右 I-337-201、左 I-337-200

品質 平絹、錦

法量 修理前 縦 34.8 横 9.2

修理後 縦 34.5 横 9.0

修理作品の概要

淡縹地に唐花文を複雑綾組織緯錦（緯三枚綾）であらわした残欠。带状で両側には少し裏へ折り返された痕跡が残る（裏面写真参照）。その形状と大きさから I-337-234 と本来表裏一体であったと判断される。

修理前の状態

作品はガラス板挟みの状態。I-337-233、234 の 2 点が一緒に挟まれていた。本作品は少し亀裂があるものの良好な状態であった。

修理仕様

I-337-6 に同じ。I-337-233、234 は本来表裏一体であったと判断されたため 2 点を並列して 1 枚の低加圧ウインドウ・マット装にした。（44 ページの修理後写真参照）

修理者 東京国立博物館客員研究員：沢田むつ代
同館研究員：佐藤萌

装潢技術者：株式会社 修護 井上さやか

修理技術者：米倉乙世

修理価格 50,000 円（I-337-233、234 の合計材料費、本格修理費）

修理期間 令和 3 年 8 月 2 日より令和 4 年 6 月 30 日



修理前 ガラス表面 上 I-337-233、下 I-337-234



修理前 ガラス裏面 上 I-337-233、下 I-337-234

品質 平絹、纈纈

法量 修理前 縦 34.8 横 8.8

修理後 縦 34.5 横 8.5

修理作品の概要

裂を摘んで糸などで括って絞り、黄緑地に黄で目結文を斜めに連続してあらわした残欠。带状で両側には少し裏へ折り返された痕跡が残る。その形状と大きさから I-337-233 と本来表裏一体であったと判断される。

修理前の状態

作品はガラス板挟みの状態。I-337-233、234 の2点が一緒に挟まれていた。本作品は良好な状態であった。

(43 ページの修理前写真参照)

修理仕様

I-337-6、7 に同じ。I-337-233、234 は本来表裏一体であったと判断されたため2点を並列して1枚の低加圧ウィンドウ・マット装にした。

修理者 東京国立博物館客員研究員：沢田むつ代
同館研究員：佐藤萌

装幀技術者：株式会社 修護 井上さやか

修理技術者：米倉乙世

修理価格 50,000 円 (I-337-233、234 の合計材料費、本格修理費)

修理期間 令和3年8月2日より令和4年6月30日



修理後 表面 上 I-337-233、下 I-337-234

品 質 土製

法 量 修理前 高 78.9 幅 22.5 奥行 77.2

修理後 高 78.9 幅 22.5 奥行 77.2

修理作品の概要

関東地方における馬形埴輪の典型例として貴重で著名な作例である。馬形埴輪は古墳時代に日本列島に伝わった乗馬文化の広まりを体現する。当館の群馬県伊勢崎市下舏町出土の埴輪には数多くの優品がある。「埴輪 鋤を担ぐ男子」(J-22675)で著名な赤堀村 104 号墳出土品のほか、「埴輪 片手を挙げる女子」(J-7819)を含む多種の人物埴輪(J-7818~7825)や円筒埴輪(J-7120、7825)があり、当該資料はその一角をなす。

修理前の状態

各脚に亀裂が入り、倒壊するおそれがあった。旧修理の際に生じた接合のずれのために全体に歪みがあった。タテガミ、鞍の前輪や後輪などを石膏で復元しており、一部が劣化のために剝落していた。補彩箇所が退色し、石膏の白色が目立った。

修理仕様

1. 解体

ヘラ、ナイフなどを用い、接合破片や補填部を外した。強固に接着されている箇所や、接合部の形状によっては、溶剤などで接着剤をゆるめて除去した。

2. 洗浄

保管中に付いた汚れや、接合作業中に付いた汚れを精製水(イオン交換水)で洗浄した。また、強固な汚れや付着物は溶剤(アセトン、リグロイン、エタノールなど)と超音波発振機を用い、水槽のなかで超音波を発振させ汚れを落とし、それでも取れない箇所には超

音波を発振させた柔らかいビットをあて、汚れを浮かせて洗浄した。

3. 接合組立

接合する破片の接合面に水溶性である膠を塗布した後、エポキシ樹脂(エピコート 834)で接合した。

4. 強化整形

4 本の脚には足裏から縦に伸びる亀裂があるので、内側からエポキシ樹脂(エピコート 834)を入れて強化した。

5. 補填

欠失部補填は資料の重心をできるだけ前脚より後方に移動させる目的で、タテガミの補填は比重の軽い FRP 樹脂(FRP 手積用ポリエステル樹脂、グラスウール)を使用した。同様に後方にある補填は硬石膏(ニュープラストーン)とし、可能なかぎり重心を馬後方に下げた。

6. 補彩

媒材として膠のほか、補助的に樹脂(エピコート 834、ポリマイド L-45-3)などを各種粘土粉末(備前土、信楽土、山土)や顔料と調合したものを、資料本体には被せず、接合部や補填箇所のみに補填した。部分的にツヤの差がある箇所には、希釈したアクリル樹脂(パラロイド B72)を含侵させてツヤを微調整した。

7. 収納等

資料は頭部側に重心が偏っており転倒の危険性があるため、金属棒で首を支える支持具を作製した。

8. 修理後記録

修理全般に関する記録を修理報告書にまとめた。

修 理 者 藤山隆司、藤山裕方

修理価格 2,998,490 円(文化財活用センター貸与促進事業費)

修理期間 令和 3 年 1 月 1 日より令和 4 年 12 月 31 日



修理前 左側面



修理前 右側面



解体後



修理後 左側面



修理後 右側面



支持具

29 せきぼう 石棒 J-1474 1個 縄文時代中期・前3000～前2000年 長野県駒ヶ根市赤穂（美女ヶ森）出土
小町谷八玉彦氏寄贈

品質 石製（溶結凝灰岩）
法量 修理前 全長 83.0／18.0 胴径 12.0
修理後 全長 101.0 胴径 12.0

担当者 向井雅信
修理価格 99,990円（文化財活用センター貸与促進事業費）
修理期間 令和4年10月1日より令和4年12月31日

修理作品の概要

石棒は男性器を模した縄文時代の儀礼の道具と考えられている。石棒は儀礼行為（破壊、被熱）によって意図的に破碎され、全形をとどめていない例が圧倒的に多い。倒置された状態で発見される場合が一般的だが、樹立した状態で発見される例もある。

本資料は、縄文時代中期後半から後期前半にかけて中部、関東を中心に展開する大形石棒である。頭部は笠状を呈し、頸部のくびれから胴部中央にかけてゆるやかにふくらみ、下端部がすばまる紡錘形である。表面は丁寧に研磨されている。

修理前の状態

頭部（上端部）および胴中央部で折損しており、下端部はわずかに欠損している。折損した箇所のうち胴中央部は、旧修理によって漆で接合されている。表面は全体に経年に伴う風化が進んでいる。

修理仕様

1. 洗浄・クリーニング

破断面の状態を観察して、旧修理材料（接着剤として用いた漆）をぬるま湯（イオン交換水）と有機溶剤（アセトン）とにより先端を加工した工具を用いて除去した。洗浄はスチーマー（STEAMY PR-1）を用いて蒸気と先端を加工した筆で旧修理材料の残滓を除去した。

2. 強化

破断面に有機溶剤（アセトン）で溶解したアクリル樹脂（パラロイドB72）の濃度を5～7％程度に調整したものを塗布含浸した。

3. 接合・組立

接合には有機溶剤（アセトン）で容易に溶解するアクリル樹脂（パラロイドB72）とエポキシ樹脂系化学反応接着剤（ボンドクイック5）を使用した。アクリル樹脂の濃度は破断面の状態と破片を合わせた時の隙間の広さを考慮して、有機溶剤（アセトン）で調整したものを使用した。

4. 修理後記録

修理全般に関する記録を修理報告書にまとめた。

修理者 株式会社 東都文化財保存研究所
代表者 朝重嘉朗



修理前 表



修理前 裏



①クリーニング作業



②蒸気（スチーマー）による洗浄作業



③アクリル樹脂（パロイド B72）の塗布含浸



④接合状況



頭部側破断面クリーニング前



頭部側破断面クリーニング後



修理後 表



修理後 裏

品 質 紙本墨摺

法 量 修理前 縦 26.4 横 18.1 厚み 8.5
修理後 縦 27.5 横 18.5 厚み 8.5

修理作品の概要

冊子装の版本。陸奥国守山藩主、松平頼寛が晩年に編纂した徳川創業史で、天文 11 年（1542）の徳川家康誕生から元和 2 年（1616）の死去までの 75 年間を中心に、寛文 4 年（1664）までの記事を含む。全 100 巻。序、巻 1 から巻 100、附録巻 1 から巻 8 の計 109 冊からなる。

修理前の状態

本紙は薄い楮紙を袋綴じにし、さらに青色の色表紙を付けて四つ目綴じされていた。各巻で状態は異なっていたが、綴じ糸が切れた冊子も多く、表紙と題箋の破損や摩耗が著しく、表紙が外れたものもあった。虫損は表紙、本紙全体におよび、綴じと天地の小口側に集中していた。また、1 冊のうち前半と後半に虫損が偏り、本紙の破片化や、固着している箇所もあった。綴じ側の虫損には茶色い粉が詰まっていた。茶色いしみが生じている冊子もあった。さらに旧補修跡もみられた。付箋のような小紙片や不審紙がみられ、糊分が枯れ剥がれ落ちたものもあった。後世に押した朱印を覆うためにあてた紙（酸性紙）が残った冊子があった。地の小口に墨書で巻名が明記されていた。

修理仕様

1. 記録

修理前の現状の写真撮影と劣化損傷記録調査を作成した。資料の形態、採寸、劣化損傷の状態を記録した。

2. 解体

綴じ糸と紙縫りを外し、表紙、見返し、本紙に解体した。表紙に和紙ノンブルをメチルセルロースで貼り付けた（最終的に除去）。付箋のような小紙片や不審紙、挿入紙、旧補修紙の有無などの記録を追加した。本紙の厚みを計測し、朱や書き込みはスポットテストにより耐水性があることを確認した。

3. クリーニング、整形

本紙の虫損に付着した虫糞を除去し、本紙の破片や折れを整形した。

4. 開き（リーフキャストイング前作業）

本紙が破片化して不安定な箇所には和紙片を生麩糊と CMC 混合糊で貼って安定化させた。固着していた本紙片は慎重に分離して、前後の丁に貼り戻した。旧補修紙は少しずつ水で濡らしながら除去した。

5. リーフキャストイング（本紙）

リーフキャストイングの機材を使用して、本紙の欠損部分に和紙繊維（リーフキャストイング用に加工を施した楮と三桮の繊維）を充填した。脱水後、本紙をボードに挟みプレス乾燥した。翌日、充填状態を確認し、ボードを替えてゆるやかに乾燥させ、安定化させた。

6. 表紙の開き、リーフキャストイング

表紙の列品ラベルを外した。表紙は本紙以上に虫損による損傷が著しく、厚みがあったことから、手繕いではなく、欠損部に和紙繊維を均一に充填できるリーフキャストイングを選択した。題箋は非常に薄く脆弱化した竹紙と思われたため、現状を保全するために残すこととした。表紙を浸水させ、青色の表紙と厚み出し紙を分離し、青色の表紙、厚み出し紙を整形したのち、破片が不安定な箇所には和紙（土佐和紙 2.5 匁、藍染）を貼って安定化した。その後、厚み出し紙は本紙と同じ繊維でリーフキャストイングを行ない、青色の表紙は色調に合わせて 2 色を協議により選定し、青色系の和紙繊維（楮繊維、田中直染料店製の青 4GA、茶 TN、グレー GA で調整）でリーフキャストイングを行なった。本紙同様に十分に乾燥させた。リーフキャストイングした厚み出し紙と青色の表紙を生麩糊と CMC 混合糊により貼り合わせた。

7. 仮裁断

デジタル撮影に際して、本紙保護のために、リーフキャストイングの余白部分を本紙周囲に 5 mm 残して裁断した。

8. デジタル撮影

ワンショットタイプのデジタル撮影機と専用台を用いて、本紙と見返しを開いた状態で全丁の撮影を行なった。当館の指示のもと、スケール、カラーチャートを左端に設置し、表題、列品番号、カット数、撮影年月日の撮影札を右下に設置した。撮影画像はその都度、映り込みや歪みを確認し、必要があれば再撮影を行なった。表紙、裏表紙は製本後に撮影した。その際、裏表紙の裏面に朱印がある際には見返しを貼らずにめくって撮影を行なった。撮影した画像データ（JPEG、TIFF、PDF）を HDD に納めた。

9. 再製本

デジタル撮影後、本紙を袋綴じにして、デジタル撮影時の本紙保護のために残していた本紙周囲の余白を仕上りの寸法に合わせて一紙ずつ裁断を行なった。本紙のノンブルをチェックした後、紙縫り（細川紙 4.0 匁）で仮綴じを行なった。新調する角裂 3 種類、綴じ糸（絹糸）太さ 2 種類、染め色 3 種類を用意し、修理監督者との協議により決定した。本紙綴じ側の天地に

新調した角裂を貼った。リーフキャストイングした表紙を最終仕上がり寸法に合わせて折り込み、角をカットして整えた。四つ目綴じ装に仕立てた。

10. 修理後記録

修理後の撮影を行ない、修理報告書を作成した。

特記事項

地側の小口には後世のものとみられる巻数の墨書が書き込まれていたが、リーフキャストイングによる余白のため修理後は隠れたため、撮影してデータを残した。

1冊目の序の巻には「首」と記されている。

修 理 者 有限会社 東京修復保存センター
代表取締役 坂本恵子

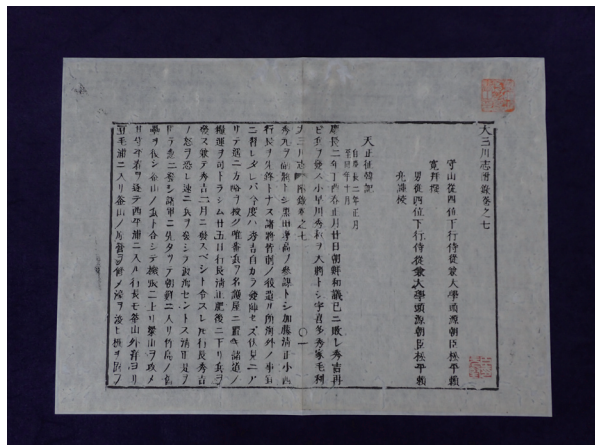
担 当 者 安田智子、坂本恵子、坂本映、明神実子、
岩田美奈、原島貴恵、坂本由香里、田辺希

修理価格 10,679,482 円（本格修理費）

修理期間 令和2年12月25日より令和4年12月31日



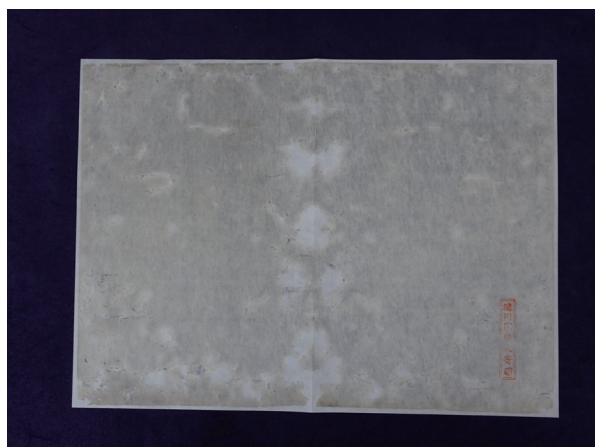
修理前 附録巻7 巻頭見開き



修理後 附録巻7 巻頭見開き



修理前 附録巻8 裏見返し



修理後 附録巻8 裏見返し



修理前 序～巻14（全109冊のうち）全体



修理後 序～巻14（全109冊のうち）全体

品 質 紙本にインク、水彩、金彩、布
 法 量 修理前 縦 10.5 横 16.5 (252 葉)
 修理後 縦 10.5 横 16.5 (252 葉)

修理作品の概要

冊子体のインド写本。総布装綴じ付け製本で、かがり綴じとし、双糸の麻紐の支持体が2本ある。その製本は表紙に厚紙を用い、布を貼り、小口に花布を付けて補強するなど、上製本に仕立てる。中扉を設け、内容を区切る。中扉の後に図をのせ、テキストが続く。図は5点を掲載し、セーシャ・ナーガに横たわるヴィシュヌなど、ヒンドゥー教の神ヴィシュヌをあらわしたものが多く、本文は各ページに枠を取り、そのなかにテキストを記す。一部、朱文がある。

修理前の状態

表裏のジョイント部分（背と表紙、平の境目部分）の補修布とオリジナルの表装布には脆弱化や破損が生じ、見返しノド元も破断していたため、表紙と中身は支持体のみで接続が保たれていた。さらに、地側の支持体は2本のうち1本が切れていた。表、裏表紙の表装布には周縁部に欠損、摩耗、剥がれ、ほつれなどもみられた。表紙ボードは紙を貼り合わせて作られており、角に変形や層状の剥離が生じていた。支持体、綴じ糸が脆弱化し全体的に綴じがゆるんでいた。花布（編み花布、シェブロン型）は脆弱化や摩耗がみられたものの、中身との接続は安定していた。裏見返しの遊び紙は欠失し、表見返しの遊び紙には天側角に欠損があった。本紙にはノド元や周縁部に生じた破損や折れ、最終ページ付近の虫損、全体的な波打ちがみられた。彩色図版の枠線裏面に焼けがみられ、破損が生じていた。

修理仕様

1. クリーニング

柔らかい刷毛を用いて表紙、小口、見返し、本紙のドライクリーニングを行なった。

2. 解体

見返しを少し持ち上げて表紙ボードから支持体を引き抜き、背を開けた。

3. 背貼り

新規背貼り（締め直し）を行なうため、折丁背側に付着していた綿を無理のない範囲で取り外し、背表紙の裏側に移動させた。染めた楮紙（中厚）を用い、背固め用背貼りを行なった。

4. 補強

引き抜いた支持体に染めた楮紙（薄口）を巻いて補強し、表紙ボードに再び通して再接続した。補助用ヒンジとして染めた楮紙（中厚）を用い、表紙と中身の接続部を補強した。

5. 欠損部の補修

本紙、図版の破損、折れには染めた楮紙（薄口）を、欠損には楮、三桎紙をそれぞれ用いて補修した。見返しの欠損は楮、三桎紙を用いて補修し、折れは伸ばした。

6. 補強

見返しノド元に染めた楮紙（中厚）を貼り、補強、化粧張りを行なった。表紙とジョイント部分の表装布の損傷部に染めた楮紙（中厚）を貼り、補強した。剥がれていた表装布を貼り直した。表紙ボードの層状剥離部分に糊差しを行ない補強、修正した。

特記事項

1. 全体の約5分の1のページはノド元に足し紙をして綴じられていた。
2. 三方の小口に装飾はなく、切り損じのような、刃物で裁断したとみられる段々の跡が残っていた。
3. 背からジョイントにかけての破損や欠損に対しては、似寄りの布を貼り込んだ旧修理の箇所が認められた。
4. 折丁背の地側に確認された綿は、ネズミの被害による一部欠失を補填するために詰め込まれたとみられる。
5. 裏見返しには鉛筆による書き入れがあった。

修 理 者 株式会社 Conservation for Identity
 代表取締役 飯島正行

担 当 者 飯島正行

修理価格 253,000 円（インド美術普及活動寄附金〈鶴岡龍〉）

修理期間 令和4年10月1日より令和5年3月31日



修理前 表表紙



修理前 裏表紙



修理前 彩色図版



修理前 本文



修理後 表表紙



修理後 裏表紙



修理後 彩色図版



修理後 本文

令和 5 年度 継続修理作品一覧

令和 4 年度 対症修理作品一覧

List of Works Conserved in Fiscal Year 2022

令和5年度 継続修理作品一覧

No	列品番号	指定／名称	作者等／出土地	頁数	時代	修理施工者	修理価格(円)	主な修理内容
1	F-4-2	沃懸地鳳凰蒔絵小脇指		1口	江戸時代・19世紀	森井祥雲堂	5,793,510	解体、金属片の除去、補填、接合・組立、補彩
2	A-11131	六遠山水図 瀾遠	池大雅筆、滝鶴台賛	1幅	江戸時代・明和3年(1766)	(株) 光影堂	11,083,490	解体、剥落止め、クリーニング、裏打ち、補彩、保存箱作製
	A-11132	六遠山水図 幽遠	池大雅筆、滝鶴台賛	1幅	江戸時代・明和3年(1766)	(株) 光影堂		解体、剥落止め、クリーニング、裏打ち、補彩、保存箱作製
	A-11133	六遠山水図 迷遠	池大雅筆、滝鶴台賛	1幅	江戸時代・明和3年(1766)	(株) 光影堂		解体、剥落止め、クリーニング、裏打ち、補彩、保存箱作製
	A-11134	六遠山水図 平遠	池大雅筆、滝鶴台賛	1幅	江戸時代・明和3年(1766)	(株) 光影堂		解体、剥落止め、クリーニング、裏打ち、補彩、保存箱作製
	A-11135	六遠山水図 深遠	池大雅筆、滝鶴台賛	1幅	江戸時代・明和3年(1766)	(株) 光影堂		解体、剥落止め、クリーニング、裏打ち、補彩、保存箱作製
	A-11136	六遠山水図 高遠	池大雅筆、滝鶴台賛	1幅	江戸時代・明和3年(1766)	(株) 光影堂		解体、剥落止め、クリーニング、裏打ち、補彩、保存箱作製
3	QA-3623-2	◎《岩手県宝物目録：社寺及人民》		1冊	明治時代・19世紀	(一社) 国宝修理装潢師連盟	55,792,634	解体、クリーニング、補強、補紙、補修、保存箱作製
	QA-3624-1	◎《岩手県宝物精細簿：単》		1冊	明治時代・19世紀	(一社) 国宝修理装潢師連盟		解体、クリーニング、補強、補紙、補修、保存箱作製
	QA-3624-2	◎《東京府宝物精細簿：甲；公爵徳川家達・侯爵徳川義礼》		1冊	明治時代・19世紀	(一社) 国宝修理装潢師連盟		解体、クリーニング、補強、補紙、補修、保存箱作製
	QA-3624-3	◎《東京府宝物精細簿：乙》		1冊	明治時代・19世紀	(一社) 国宝修理装潢師連盟		解体、クリーニング、補強、補紙、補修、保存箱作製
	QA-3624-4	◎《東京府宝物精細簿：甲；公爵徳川家達・侯爵徳川義礼》		1冊	明治時代・19世紀	(一社) 国宝修理装潢師連盟		解体、クリーニング、補強、補紙、補修、保存箱作製
	QA-3624-5	◎《東京府宝物精細簿：乙》		1冊	明治時代・19世紀	(一社) 国宝修理装潢師連盟		解体、クリーニング、補強、補紙、補修、保存箱作製
	QA-3624-6	◎《徳川公爵宝物精細簿》		1冊	明治時代・19世紀	(一社) 国宝修理装潢師連盟		解体、クリーニング、補強、補紙、補修、保存箱作製
	QA-3624-7	◎《前田公爵宝物精細簿》		1冊	明治時代・19世紀	(一社) 国宝修理装潢師連盟		解体、クリーニング、補強、補紙、補修、保存箱作製
	QA-3624-8	◎《東京府宝物参攷簿：単》		1冊	明治時代・19世紀	(一社) 国宝修理装潢師連盟		解体、クリーニング、補強、補紙、補修、保存箱作製
	QA-3624-9	◎《東京府仮定精細簿》		1冊	明治時代・19世紀	(一社) 国宝修理装潢師連盟		解体、クリーニング、補強、補紙、補修、保存箱作製
	QA-3624-10	◎《神奈川県宝物精細簿：単》		1冊	明治時代・19世紀	(一社) 国宝修理装潢師連盟		解体、クリーニング、補強、補紙、補修、保存箱作製

No	列品番号	指定／名称	作者等／出土地	頁数	時代	修理施工者	修理価格(円)	主な修理内容
3	QA-3624-11	◎《神奈川県宝物参攷簿；単》		1冊	明治時代・19世紀	(一社) 国宝修理装演師連盟		解体、クリーニング、補強、補紙、補修、保存箱作製
	QA-3624-12	◎《愛知県宝物精細簿；各社寺人民》		1冊	明治時代・19世紀	(一社) 国宝修理装演師連盟		解体、クリーニング、補強、補紙、補修、保存箱作製
	QA-3624-13	◎《愛知県宝物精細簿；単；社寺土民》		1冊	明治時代・19世紀	(一社) 国宝修理装演師連盟		解体、クリーニング、補強、補紙、補修、保存箱作製
	QA-3624-14	◎《徳川侯爵宝物精細簿；2；附成瀬子爵刀剣之部》		1冊	明治時代・19世紀	(一社) 国宝修理装演師連盟		解体、クリーニング、補強、補紙、補修、保存箱作製
	QA-3624-15	◎《滋賀県宝物精細簿；天；滋賀郡延暦寺・園城寺・安楽律院》		1冊	明治時代・19世紀	(一社) 国宝修理装演師連盟		解体、クリーニング、補強、補紙、補修、保存箱作製
	QA-3624-16	◎《滋賀県宝物精細簿；地；滋賀郡・栗太郡・野洲郡・甲賀郡》		1冊	明治時代・19世紀	(一社) 国宝修理装演師連盟		解体、クリーニング、補強、補紙、補修、保存箱作製
	QA-3624-17	◎《滋賀県宝物精細簿；人；神崎郡・蒲生郡・愛知郡・犬上郡・坂田郡・東浅井郡・西浅井郡・伊香郡・高島郡・附土民》		1冊	明治時代・19世紀	(一社) 国宝修理装演師連盟		解体、クリーニング、補強、補紙、補修、保存箱作製
	QA-3624-18	◎《滋賀県宝物精細簿；甲；滋賀郡・栗太郡・野洲郡・甲賀郡》		1冊	明治時代・19世紀	(一社) 国宝修理装演師連盟		解体、クリーニング、補強、補紙、補修、保存箱作製
	QA-3624-19	◎《滋賀県宝物精細簿；乙；蒲生郡・神崎郡・愛知郡・犬上郡・坂田郡・東浅井郡・伊香郡・高島郡》		1冊	明治時代・19世紀	(一社) 国宝修理装演師連盟		解体、クリーニング、補強、補紙、補修、保存箱作製
	QA-3624-20	◎《滋賀県宝物参攷簿；天；滋賀郡・栗太郡・野洲郡・甲賀郡・蒲生郡》		1冊	明治時代・19世紀	(一社) 国宝修理装演師連盟		解体、クリーニング、補強、補紙、補修、保存箱作製
	QA-3624-21	◎《滋賀県宝物参攷簿；地；神崎郡・愛知郡・犬上郡・坂田郡・東浅井郡・西浅井郡・伊香郡・高島郡・附土民之部》		1冊	明治時代・19世紀	(一社) 国宝修理装演師連盟		解体、クリーニング、補強、補紙、補修、保存箱作製
	QA-3624-22	◎《滋賀県宝物参攷簿；天》		1冊	明治時代・19世紀	(一社) 国宝修理装演師連盟		解体、クリーニング、補強、補紙、補修、保存箱作製
	QA-3624-23	◎《滋賀県宝物参攷簿；地》		1冊	明治時代・19世紀	(一社) 国宝修理装演師連盟		解体、クリーニング、補強、補紙、補修、保存箱作製
	QA-3624-24	◎《滋賀県史料参攷簿；単；社寺及土民》		1冊	明治時代・19世紀	(一社) 国宝修理装演師連盟		解体、クリーニング、補強、補紙、補修、保存箱作製

No	列品番号	指定／名称	作者等／出土地	員数	時代	修理施工者	修理価格(円)	主な修理内容
3	QA-3624-25	◎《京都市宝物精細簿 ：1；上京区》		1冊	明治時代・19世紀	(一社) 国宝修理装演師連盟		解体、クリーニング、 補強、補紙、補修、 保存箱作製
	QA-3624-26	◎《京都市宝物精細簿 ：2；下京区；甲》		1冊	明治時代・19世紀	(一社) 国宝修理装演師連盟		解体、クリーニング、 補強、補紙、補修、 保存箱作製
	QA-3624-27	◎《京都市下京区精細簿 ：3；下京区；乙》		1冊	明治時代・19世紀	(一社) 国宝修理装演師連盟		解体、クリーニング、 補強、補紙、補修、 保存箱作製
	QA-3624-28	◎《京都府宝物精細簿 ：4；愛宕郡》		1冊	明治時代・19世紀	(一社) 国宝修理装演師連盟		解体、クリーニング、 補強、補紙、補修、 保存箱作製
	QA-3624-29	◎《京都府宝物精細簿 ：5；葛野郡》		1冊	明治時代・19世紀	(一社) 国宝修理装演師連盟		解体、クリーニング、 補強、補紙、補修、 保存箱作製
	QA-3624-30	◎《京都府宝物精細簿 ：6；乙訓郡・紀伊 郡・宇治郡》		1冊	明治時代・19世紀	(一社) 国宝修理装演師連盟		解体、クリーニング、 補強、補紙、補修、 保存箱作製
	QA-3624-31	◎《京都府宝物精細簿 ：7；久世郡・相楽 郡・綴喜郡・南桑田 郡・北桑田郡・船井 郡・天田郡・何鹿 郡・加佐郡・与謝 郡・中郡・竹野郡》		1冊	明治時代・19世紀	(一社) 国宝修理装演師連盟		解体、クリーニング、 補強、補紙、補修、 保存箱作製
	QA-3624-32	◎《京都市宝物精細簿 ：8；上京区土民》		1冊	明治時代・19世紀	(一社) 国宝修理装演師連盟		解体、クリーニング、 補強、補紙、補修、 保存箱作製
	QA-3624-33	◎《京都府宝物精細簿 ：9；下京区土民・ 附各郡土民》		1冊	明治時代・19世紀	(一社) 国宝修理装演師連盟		解体、クリーニング、 補強、補紙、補修、 保存箱作製
	QA-3624-34	◎《京都市下京区宝物 精細簿；1》		1冊	明治時代・19世紀	(一社) 国宝修理装演師連盟		解体、クリーニング、 補強、補紙、補修、 保存箱作製
	QA-3624-35	◎《京都府宝物精細簿 ：2；愛宕郡》		1冊	明治時代・19世紀	(一社) 国宝修理装演師連盟		解体、クリーニング、 補強、補紙、補修、 保存箱作製
	QA-3624-36	◎《京都府宝物精細簿 ：3；葛野郡》		1冊	明治時代・19世紀	(一社) 国宝修理装演師連盟		解体、クリーニング、 補強、補紙、補修、 保存箱作製
	QA-3624-37	◎《京都府宝物精細簿 ：4；乙訓郡・紀伊 郡・宇治郡》		1冊	明治時代・19世紀	(一社) 国宝修理装演師連盟		解体、クリーニング、 補強、補紙、補修、 保存箱作製
	QA-3624-38	◎《京都府宝物精細簿 ：5；久世郡・相楽 郡・綴喜郡・南桑田 郡・北桑田郡・船井 郡・天田郡・何鹿 郡・加佐郡・与謝 郡》		1冊	明治時代・19世紀	(一社) 国宝修理装演師連盟		解体、クリーニング、 補強、補紙、補修、 保存箱作製
	QA-3624-39	◎《京都市宝物精細簿 ：6；上京区・下京 区・土民・附各郡》		1冊	明治時代・19世紀	(一社) 国宝修理装演師連盟		解体、クリーニング、 補強、補紙、補修、 保存箱作製
	QA-3624-40	◎《京都府史要参攷簿》		1冊	明治時代・19世紀	(一社) 国宝修理装演師連盟		解体、クリーニング、 補強、補紙、補修、 保存箱作製

No	列品番号	指定／名称	作者等／出土地	員数	時代	修理施工者	修理価格(円)	主な修理内容
4	A-60	見返り美人図	菱川師宣筆	1 幅	江戸時代・17 世紀	(株) 半田九清堂	2,400,000	解体、剥落止め、クリーニング、旧裏打紙の除去
5	J-22409	壺形土器残欠	北海道枝幸町歌登本幌別出土	1 個	オホーツク文化期・6～7 世紀	(株) 東都文化財保存研究所	300,000	クリーニング、強化、補填、補彩
6	J-22410	壺形土器残欠	北海道枝幸町歌登本幌別出土	1 個	オホーツク文化期・6～7 世紀	(株) 東都文化財保存研究所	300,000	クリーニング、強化、補填、補彩
7	J-38320-1	イモガイ形土製品	岩手県軽米町出土	1 個	縄文時代（晩期）・前 1000～前 400 年	(有) 武蔵野文化財修復研究所	150,000	クリーニング、強化、補填、補彩
8	J-38320-2	キノコ形土製品	岩手県軽米町出土	1 個	縄文時代（後期）・前 2000～前 1000 年	(有) 武蔵野文化財修復研究所	150,000	クリーニング、強化、補填、補彩

*No 4 は、踊る埴輪&見返り美人修理プロジェクトの寄附金から修理費を支出している。

(以下は令和5年4月から令和6年3月までに修理が完了した作品一覧)

No	列品番号	指定／名称	作者等／出土地	員数	時代	修理施工者	修理価格(円)	主な修理内容
1	I-3947	小袖		1 領	室町時代後期～ 安土桃山時代・ 16 世紀	(株) 松鶴堂	5,665,841	織り糸と中綿の整え、 皺伸ばし・補修、保 存箱作製
2	J-6195	広口壺	香川県高松市 石清尾山猫塚古墳 出土	1 個	古墳時代・ 3～4 世紀	(有) 武蔵野文 化財修復研究所	790,900	解体、クリーニング、 強化・接合、補填、 補彩
3	TA-339	山水図軸		1 幅	南宋時代・13 世紀	(株) 文化財保 存	1,658,572	解体、剥落止め、ク リーニング、裏打ち、 補彩、保存箱作製
4	TB-1438	傑山偈	古林清茂筆	1 幅	元時代・泰定3年 (1326)	(株) 松鶴堂	3,368,169	解体、剥落止め、ク リーニング、裏打ち、 補彩、保存箱作製
5	J-11982	甗		1 個	古墳時代・6 世紀	(有) 武蔵野文 化財修復研究所	510,400	解体、クリーニング、 強化・接合、補填、 補彩
6	J-22408	甕形土器	北海道枝幸町歌登 出土	1 個	オホーツク文化期 ・5～6 世紀	(株) 東都文化 財保存研究所	499,950	クリーニング、強 化・接合、補填、補 彩
7	TJ-2977	灰陶壺	中国遼寧省営口 市 蘆家屯3号磚 墓出土	1 個	後漢時代・2 世紀	繭山隆司	899,745	クリーニング、強 化・接合、補填、補 彩
8	TJ-2983	灰陶倉	中国遼寧省営口 市 蘆家屯3号磚 墓出土	1 個	後漢時代・2 世紀	繭山隆司	755,535	解体、クリーニング、 強化・接合、補填、 補彩
	TJ-3004	灰陶倉(屋根)	中国遼寧省営口 市 蘆家屯3号磚 墓出土	1 個	後漢時代・2 世紀	繭山隆司		解体、クリーニング、 強化・接合、補填、 補彩
9	TJ-2984	灰陶倉	中国遼寧省営口 市 蘆家屯3号磚 墓出土	1 個	後漢時代・2 世紀	繭山隆司	748,935	解体、クリーニング、 強化・接合、補填、 補彩
	TJ-3005	灰陶倉(屋根)	中国遼寧省営口 市 蘆家屯3号磚 墓出土	1 個	後漢時代・2 世紀	繭山隆司		解体、クリーニング、 強化・接合、補填、 補彩
10	TJ-2985	灰陶井戸	中国遼寧省営口 市 蘆家屯3号磚 墓出土	1 個	後漢時代・2 世紀	繭山隆司	799,975	解体、クリーニング、 強化・接合、補填、 補彩
11	A-12486	泰西騎士像		1 幅	江戸時代・17 世紀	(株) 半田九清 堂	2,831,185	剥落止め、クリーニ ング、裏打ち、表装 の新調、保存箱作製
12	J-21428	埴輪 踊る人々	埼玉県熊谷市 野原古墳出土	1 個	古墳時代・6 世紀	(株) 東都文化 財保存研究所	1,199,880	解体、クリーニング、 強化・接合、補填、 補彩、支持具作製
13	J-21429	埴輪 踊る人々	埼玉県熊谷市 野原古墳出土	1 個	古墳時代・6 世紀	(株) 東都文化 財保存研究所	1,399,860	解体、クリーニング、 強化・接合、補填、 補彩、支持具作製
14	A-11923	伝源頼朝像(模本)	冷泉為恭模	1 幅	江戸時代・19 世紀	(独法) 東京国立博物館	650,000	解体、剥落止め、ク リーニング、裏打ち、 補彩、保存箱作製

*No 2、4、5、7、8、9、10、11 は、踊る埴輪&見返り美人修理プロジェクトの寄附金から修理費の一部を支出した。

*No 12、13 は、踊る埴輪&見返り美人修理プロジェクトの寄附金から修理費を支出している。

令和4年度 対症修理作品一覧

No	列品番号	名称	員数	処置内容	処置担当者
1	A-209	山水図屏風	6 曲 1 双	糊差し、繕い、蝶番の補強、打突部の補修	AF、山田祐子
2	A-253	百猿図	1 幅	糊差し、フラットニング、折れ伏せ、裏摺、フラットニング、軸受作製	AF、山田祐子
3	A-279	達磨像	1 幅	保存箱修理（割損部の接着、紙札の剥落止め、欠失箇所への補填、色合わせ）	足立収一、保存修復課
4	A-468	遊女と禿図	1 幅	糊差し	AF
5	A-578	遊女立姿図	1 幅	剥落止め、糊差し	AF
6	A-723	富士山腹帰樵	1 面	額の調整、クリーニング	米倉乙世
7	A-757	仏涅槃図	1 幅	保存箱修理（解体、組直し、補填、色合わせ）	足立収一、保存修復課
8	A-787	桜花遊女と禿図	1 幅	糊差し	山田祐子
9	A-790	梅窓美人図	1 幅	掛緒の新調	AF
10	A-812	風前美人図	1 幅	糊差し	AF
11	A-863	瓶花	1 面	額の裏板設置、アクリル設置	（株）テラ
12	A-910-4	鏡	1 枚	旧接着剤除去、マウント（再）	米倉乙世
13	A-910-21	スロونسクエア駅	1 枚	マット装	桐原瑛奈、高橋志歩
14	A-910-66	プレスト港の古い碇	1 枚	マット装	桐原瑛奈、高橋志歩
15	A-910-100	オーケストラの打楽器奏者たち	1 枚	マット装	桐原瑛奈、高橋志歩
16	A-910-116	二人の踊り	1 枚	マット装	桐原瑛奈、高橋志歩
17	A-910-131	雛鳥	1 枚	ドライクリーニング、マウント（再）	米倉乙世
18	A-1192	雑花果蓐図	1 幅	糊差し、補修、剥落止め、剥離部の接着、折れ伏せ、裏摺、フラットニング、太巻芯作製	AF、山田祐子
19	A-1198	紅梅椿図	1 幅	銀、紐の新調、糊差し、フラットニング	AF、山田祐子
20	A-1251	拾得図	1 幅	掛緒と巻緒の新調	中村隆博
21	A-1254	出山釈迦図	1 幅	鉛の除去、補修、補強、折れ伏せ	AF、山田祐子
22	A-1330	鐘馗図	1 幅	欠損箇所の補修、糊差し、貼り戻し	山田祐子
23	A-1375	柳小禽図	1 幅	保存箱修理（矧ぎ目の接着、補填、色合わせ）	足立収一、保存修復課
24	A-1426	ローレンツ・フォン・シュタイン像	1 面	クリーニング、補修、剥落止め、張直し、充填整形、補彩、ワニス塗布、（株）土師絵画工房額装	（株）土師絵画工房
25	A-6834-1、2	十六羅漢図（模本）	2 幅	軸棒の取外し、表装の補修、フラットニング、新規軸棒の取付	AF、山田祐子
26	A-8553	イスパニア国女帝コロンブス引見の図	1 枚	額装	桐原瑛奈、高橋志歩
27	A-8560	曳馬図	1 枚	額装	桐原瑛奈、高橋志歩
28	A-8562	金龍山図	1 枚	額装	桐原瑛奈、高橋志歩
29	A-8565	大隈滝の図	1 枚	額装	桐原瑛奈、高橋志歩
30	A-8566	不忍池ノ図	1 枚	額装	桐原瑛奈、高橋志歩

No	列品番号	名称	員数	処置内容	処置担当者
31	A-8568	エイトイハシノツ（永代橋ノ図）	1 枚	額装	桐原瑛奈、高橋志歩
32	A-8569	レラコクハシ（両国橋の図）	1 枚	額装	桐原瑛奈、高橋志歩
33	A-8570	スサキヘンテン（洲崎ノ図、州崎弁天の図）	1 枚	額装	桐原瑛奈、高橋志歩
34	A-8571	三囲の図	1 枚	額装	桐原瑛奈、高橋志歩
35	A-8572	榎坂の図	1 枚	額装	桐原瑛奈、高橋志歩
36	A-8573	シナカワシホヒ（品川汐干の図）	1 枚	額装	桐原瑛奈、高橋志歩
37	A-8574	龍図	1 枚	額装	桐原瑛奈、高橋志歩
38	A-8575	両国勝景	1 枚	額装	桐原瑛奈、高橋志歩
39	A-8576	佃嶋真景	1 枚	額装	桐原瑛奈、高橋志歩
40	A-8579	神田橋より聖堂を望むの図	1 枚	額装	桐原瑛奈、高橋志歩
41	A-8664-25	巴御前	1 枚	マット装	桐原瑛奈
42	A-9124-2	名所江戸百景・日本橋雪晴	1 枚	マット装	桐原瑛奈、高橋志歩
43	A-9124-3	名所江戸百景・霞かせき	1 枚	マット装	桐原瑛奈、高橋志歩
44	A-9124-9	名所江戸百景・するかてふ	1 枚	マット装	桐原瑛奈、高橋志歩
45	A-10004-1	雪鷺	1 面	旧装丁の解体、マット装	黒江将太、米倉乙世、高橋志歩、桐原瑛奈
46	A-10004-2	蝦・鰯	1 面	旧装丁の解体、マット装	黒江将太、米倉乙世、高橋志歩、桐原瑛奈
47	A-10004-3	秋草に鶉	1 面	旧装丁の解体、マット装	黒江将太、米倉乙世、高橋志歩、桐原瑛奈
48	A-10004-4	雁	1 面	旧装丁の解体、マット装	黒江将太、米倉乙世、高橋志歩、桐原瑛奈
49	A-10004-5	白鷺	1 面	旧装丁の解体、マット装	黒江将太、米倉乙世、高橋志歩、桐原瑛奈
50	A-10004-6	鴨	1 面	旧装丁の解体、マット装	黒江将太、米倉乙世、高橋志歩、桐原瑛奈
51	A-10004-7	雉	1 面	旧装丁の解体、マット装	黒江将太、米倉乙世、高橋志歩、桐原瑛奈
52	A-10004-8	鴨	1 面	旧装丁の解体、マット装	黒江将太、米倉乙世、高橋志歩、桐原瑛奈
53	A-10004-11	鳩	1 面	旧装丁の解体、マット装	黒江将太、米倉乙世、高橋志歩、桐原瑛奈
54	A-10004-12	鶏	1 面	旧装丁の解体、マット装	黒江将太、米倉乙世、高橋志歩、桐原瑛奈
55	A-10004-13	巴鴨に葦・寒菊	1 面	旧装丁の解体、マット装	黒江将太、米倉乙世、高橋志歩、桐原瑛奈
56	A-10004-14	鳩に紅葉	1 面	旧装丁の解体、マット装	黒江将太、米倉乙世、高橋志歩、桐原瑛奈
57	A-10004-15	百舌に山茶花・榛の木	1 面	旧装丁の解体、マット装	黒江将太、米倉乙世、高橋志歩、桐原瑛奈
58	A-10004-16	山鴨に萩・月	1 面	旧装丁の解体、マット装	黒江将太、米倉乙世、高橋志歩、桐原瑛奈

No	列品番号	名称	員数	処置内容	処置担当者
59	A-10070	旧帰雲院障壁画	1組	襖修理（ドライクリーニング、糊差し、椽木の調整） 掛軸修理（ドライクリーニング、八双の補強、折れ伏せ、軸木の新調）	（一社）国宝修理装演師連盟
60	A-10097-1	ホワイトジンジャー	1枚	マット装	桐原瑛奈、高橋志歩
61	A-10097-2	シェルジンジャー	1枚	マット装	桐原瑛奈、高橋志歩
62	A-10097-3	ナイトブルーミングセレウス	1枚	マット装	桐原瑛奈、高橋志歩
63	A-10097-4	カップオブゴールド	1枚	マット装	桐原瑛奈、高橋志歩
64	A-10097-5	バードオブパラダイス	1枚	マット装	桐原瑛奈、高橋志歩
65	A-10097-6	ヘリコニアビハイ	1枚	マット装	桐原瑛奈、高橋志歩
66	A-10097-7	アンスリューム	1枚	マット装	桐原瑛奈、高橋志歩
67	A-10097-8	オーキッド	1枚	マット装	桐原瑛奈、高橋志歩
68	A-10413	三聖吸酢図	1幅	保存箱修理（矧ぎ目の接着、補填、色合わせ）	足立収一、保存修復課
69	A-10569-57	初代尾上菊五郎と初代佐野川市松の二人 虚無僧	1枚	マット装	桐原瑛奈、高橋志歩
70	A-10569-100	○夜雨神詣美人 見立蟻通明神	1枚	マット装	桐原瑛奈、高橋志歩
71	A-10569-118	ささやき	1枚	マット装	桐原瑛奈、高橋志歩
72	A-10569-360	江戸花京橋名取	1枚	マット装	桐原瑛奈、高橋志歩
73	A-10569-410	短冊もつ遊女	1枚	マット装	桐原瑛奈、高橋志歩
74	A-10569-435	浮絵芝居舞台矢の根	1枚	マット装	桐原瑛奈、高橋志歩
75	A-10569-461	◎初代市川男蔵の奴一平	1枚	マット装	桐原瑛奈、高橋志歩
76	A-10569-471	◎三代目大谷鬼次の江戸兵衛	1枚	マット装	桐原瑛奈、高橋志歩
77	A-10569-542	◎婦人相學十鉢・浮気之相	1枚	マット装	桐原瑛奈、高橋志歩
78	A-10569-546	婦女人相十品・ポッピンを吹く娘	1枚	マット装	桐原瑛奈、高橋志歩
79	A-10569-674	百物語・しうねん	1枚	マット装	桐原瑛奈、高橋志歩
80	A-10569-685	富嶽三十六景・神奈川沖浪裏	1枚	マット装	桐原瑛奈、高橋志歩
81	A-10569-792	橋下の涼み舟	1枚	マット装	桐原瑛奈、高橋志歩
82	A-10569-793	橋下の涼み舟	1枚	マット装	桐原瑛奈、高橋志歩
83	A-10569-794	橋下の涼み舟	1枚	マット装	桐原瑛奈、高橋志歩
84	A-10569-810	○三囲神社の夕立	1枚	マット装	桐原瑛奈、高橋志歩
85	A-10569-811	○三囲神社の夕立	1枚	マット装	桐原瑛奈、高橋志歩
86	A-10569-812	○三囲神社の夕立	1枚	マット装	桐原瑛奈、高橋志歩
87	A-10569-847	○炬燵の娘と猫	1枚	マット装	桐原瑛奈、高橋志歩
88	A-10569-867	月に雁	1枚	マット装	桐原瑛奈、高橋志歩
89	A-10569-1218	江の島詣で	1枚	マット装	桐原瑛奈、高橋志歩
90	A-10569-1221	向島春の遊歩	1枚	補紙、マット装	桐原瑛奈、高橋志歩
91	A-10569-1601-02	三代目瀬川菊之丞と四代目岩井半四郎の 膳持ち女	1枚	マット装	桐原瑛奈、高橋志歩
92	A-10569-1922	屋根舟四手綱	1枚	マット装	桐原瑛奈、高橋志歩

No	列品番号	名称	員数	処置内容	処置担当者
93	A-10569-1923	屋根舟四手網	1 枚	マット装	桐原瑛奈、高橋志歩
94	A-10569-1924	屋根舟四手網	1 枚	マット装	桐原瑛奈、高橋志歩
95	A-10569-2322	役者舞臺之姿繪・かうらいや	1 枚	マット装	桐原瑛奈、高橋志歩
96	A-10569-2774	諸國瀧廻り・和州吉野義経馬洗滝	1 枚	マット装	桐原瑛奈、高橋志歩
97	A-10569-3435	鶏合せ	1 枚	補紙、補彩、マット装	桐原瑛奈
98	A-10569-3538	大木の下の雨宿り	1 枚	マット装	桐原瑛奈、高橋志歩
99	A-10569-3539	大木の下の雨宿り	1 枚	マット装	桐原瑛奈、高橋志歩
100	A-10569-3540	大木の下の雨宿り	1 枚	マット装	桐原瑛奈、高橋志歩
101	A-10569-3557	二代目坂東三津五郎の百姓深草の次郎作	1 枚	補紙、補彩、マット装	桐原瑛奈
102	A-10569-4016	浮世六玉川・第二 近江 俊頼	1 枚	補紙、マット装	桐原瑛奈
103	A-10569-4022	鶏合せ	1 枚	補紙、補彩、マット装	桐原瑛奈
104	A-10569-4083	菖蒲園	1 枚	マット装	桐原瑛奈、高橋志歩
105	A-10569-4376	風流六玉川・撰津	1 枚	マット装	桐原瑛奈、高橋志歩
106	A-10569-4383	端午	1 枚	補紙、マット装	桐原瑛奈
107	A-10569-4423	浮世見立六玉川・擲衣玉川	1 枚	マット装	桐原瑛奈、高橋志歩
108	A-10569-4503	江の島詣で	1 枚	マット装	桐原瑛奈、高橋志歩
109	A-10569-4509	三囲土手下	1 枚	補紙、マット装	桐原瑛奈、高橋志歩
110	A-10569-4603	天保山万船入津の図	1 枚	マット装	桐原瑛奈、高橋志歩
111	A-10569-4604	天保山万船入津の図	1 枚	マット装	桐原瑛奈、高橋志歩
112	A-10569-4641	六玉川・近江野路	1 枚	マット装	桐原瑛奈、高橋志歩
113	A-10569-4930	仕丁に紅葉	1 枚	マット装	桐原瑛奈、高橋志歩
114	A-10569-5206	萩の玉川	1 枚	マット装	桐原瑛奈、高橋志歩
115	A-10569-5331	讃岐院眷属をして為朝をすくふ図	1 枚	マット装	桐原瑛奈、高橋志歩
116	A-10569-5332	讃岐院眷属をして為朝をすくふ図	1 枚	マット装	桐原瑛奈、高橋志歩
117	A-10569-5333	讃岐院眷属をして為朝をすくふ図	1 枚	マット装	桐原瑛奈、高橋志歩
118	A-10569-5400	大願成就有ヶ瀧縞・金閣寺	1 枚	マット装	桐原瑛奈
119	A-10569-5737	大坂新町ねりもの・中扇屋万寿太夫寒山	1 枚	マット装	桐原瑛奈
120	A-10569-5738	大坂新町ねりもの・中扇屋雛鶴太夫拾得	1 枚	マット装	桐原瑛奈
121	A-10569-6028	卯の春	1 枚	マット装	桐原瑛奈
122	A-10569-6101	諸国名物・三河八橋杜若	1 枚	マット装	桐原瑛奈
123	A-10569-6139	初夢の扇と団扇	1 枚	マット装	桐原瑛奈、高橋志歩
124	A-10569-6205	見立寒山	1 枚	マット装	桐原瑛奈
125	A-10569-6206	見立拾得	1 枚	マット装	桐原瑛奈
126	A-10569-6302	紅白の梅	1 枚	マット装	桐原瑛奈、高橋志歩
127	A-10569-6308	山城名所名物・京扇	1 枚	マット装	桐原瑛奈、高橋志歩
128	A-10569-6378	六玉川之内・近江其二	1 枚	マット装	桐原瑛奈、高橋志歩
129	A-10569-6379	六玉川之内・撰津其三	1 枚	マット装	桐原瑛奈、高橋志歩

No	列品番号	名称	員数	処置内容	処置担当者
130	A-10569-6614	活花	1 枚	マット装	桐原瑛奈、高橋志歩
131	A-10569-6836	諸國名所百景・日光霧降の瀧	1 枚	マット装	桐原瑛奈、高橋志歩
132	A-10569-7126	東海道五拾三次之内・亀山 雪晴	1 枚	補紙、マット装	桐原瑛奈
133	A-10569-7569	六十余州名所圖會・三河 鳳来寺山巖	1 枚	補紙、マット装	桐原瑛奈
134	A-10569-7582	六十余州名所圖會・美濃 養老ノ瀧	1 枚	マット装	桐原瑛奈、高橋志歩
135	A-10569-7586	六十余州名所圖會・下野 日光山裏見ノ瀧	1 枚	マット装	桐原瑛奈、高橋志歩
136	A-10940	画家とその妻	1 枚	マウント、旧テープ除去	米倉乙世
137	A-11097	春宵怨	1 幅	保存箱修理（欠損部の補填、遊離箇所 の接着、色合わせ）	足立収一、保存修復課
138	A-11123	肖像	1 面	ワニス塗布、補彩、額のクリーニング	（株）土師絵画工房
139	A-11280	鎌倉鶴岡八幡宮	1 面	補紙、補彩、クリーニング、ラベル 除去、額調整	米倉乙世、高橋志歩
140	A-11465	遊女閑談図	1 幅	糊差し、補修、折れ伏せ	山田祐子
141	A-11466	湯上り美人と猫図	1 幅	糊差し、軸棒の鉛除去	AF
142	A-11477	桜下美人図	1 幅	糊差し、剥落止め	山田祐子
143	A-11494	京美人夏化粧図	1 幅	剥落止め、鉛の除去、たとうの補修	AF
144	A-11541	品川遊女図	1 幅	糊差し、糊止め、軸受け作製	山田祐子
145	A-11579	め組の喧嘩	1 幅	剥落止め	AF
146	A-11606	男舞図	1 幅	フラットニング、折れ伏せ、裂けの 補修、カビ除去	AF、山田祐子
147	A-11681	山水図	1 幅	保存箱修理（矧ぎ目の接着、補填、 色合わせ）	足立収一、保存修復課
148	A-11812	双鶉図	1 幅	糊差し、折れ伏せ	山田祐子
149	A-12094	◎芭蕉夜雨図	1 幅	掛緒、巻緒の新調	（株）半田九清堂
150	A-12114	拾遺古徳伝絵巻断簡	1 幅	軸棒の交換	AF
151	A-12372-461	板谷家伝来資料	1 枚	フラットニング、補修、継ぎ直し	山田祐子
152	A-12372-466	板谷家伝来資料	1 枚	剥落止め、フラットニング、 補修、継ぎ直し、旧補修紙収納封筒 作製	山田祐子
153	A-12372-467	板谷家伝来資料	1 枚	剥落止め、フラットニング、継ぎ直 し	山田祐子
154	A-12372-468	板谷家伝来資料	1 枚	剥落止め、クリーニング、フラット ニング、補修、継ぎ直し、紙製芯に 巻き封筒に入れて保存	山田祐子
155	A-12372-475	板谷家伝来資料	1 枚	フラットニング、補修、継ぎ直し	山田祐子
156	A-12372-477	板谷家伝来資料	1 枚	クリーニング、フラットニング、補 修、継ぎ直し	山田祐子
157	A-12372-484	板谷家伝来資料	3 紙	フラットニング、補修	山田祐子
158	A-12372-486	板谷家伝来資料	1 枚	剥落止め、フラットニング、補修、 継ぎ直し	山田祐子
159	A-12372-487	板谷家伝来資料	1 枚	フラットニング、補修	山田祐子
160	A-12372-489	板谷家伝来資料	1 枚	フラットニング、補修、継ぎ直し	山田祐子

No	列品番号	名称	員数	処置内容	処置担当者
161	A-12372-490	板谷家伝来資料	1 枚	剥落止め、フラットニング、補修	山田祐子
162	A-12372-492	板谷家伝来資料	1 枚	剥落止め、クリーニング、フラットニング、継ぎ直し	山田祐子
163	A-12372-493	板谷家伝来資料	1 枚	フラットニング、継ぎ直し、補修	山田祐子
164	A-12372-494	板谷家伝来資料	1 枚	剥落止め、クリーニング、フラットニング、継ぎ直し	山田祐子
165	A-12372-496	板谷家伝来資料	1 枚	フラットニング、継ぎ直し	山田祐子
166	A-12372-503	板谷家伝来資料	1 枚	フラットニング、補修	山田祐子
167	A-12372-507	板谷家伝来資料	1 枚	フラットニング、補修	山田祐子
168	A-12372-508	板谷家伝来資料	1 枚	フラットニング、補修、糊差し	山田祐子
169	A-12372-509	板谷家伝来資料	1 枚	フラットニング	山田祐子
170	A-12372-516	板谷家伝来資料	1 枚	剥落止め、クリーニング、フラットニング、補修	山田祐子
171	A-12372-517	板谷家伝来資料	1 枚	剥落止め、クリーニング、裂けあて	山田祐子
172	A-12372-518	板谷家伝来資料	1 枚	フラットニング、補修（裂けあて）	山田祐子
173	A-12372-520	板谷家伝来資料	1 枚	剥落止め、フラットニング、裂けあて	山田祐子
174	A-12372-524	板谷家伝来資料	1 枚	剥落止め、フラットニング	山田祐子
175	A-12372-526	板谷家伝来資料	1 枚	フラットニング、糊差し	山田祐子
176	A-12372-527	板谷家伝来資料	1 枚	フラットニング、裂けあて	山田祐子
177	A-12372-529	板谷家伝来資料	1 枚	フラットニング、補修、裂けあて	山田祐子
178	A-12372-532	板谷家伝来資料	1 枚	剥落止め、フラットニング、糊差し	山田祐子
179	A-12372-533	板谷家伝来資料	1 枚	クリーニング、補修、フラットニング、補修端の断落とし	山田祐子
180	A-12372-539	板谷家伝来資料	1 枚	虫糞除去、剥落止め、フラットニング、クリーニング、補修、継ぎ直し	山田祐子
181	A-12372-541	板谷家伝来資料	1 枚	フラットニング、補修	山田祐子
182	A-12372-543	板谷家伝来資料	1 枚	剥落止め、フラットニング、糊差し	山田祐子
183	A-12372-545	板谷家伝来資料	1 枚	フラットニング、継ぎ直し	山田祐子
184	A-12488	中国真景図巻	1 巻	糊差し	中村隆博
185	A 寄託	波濤群燕図	1 幅	紐交換、軸鉛除去	AF
186	A 寄託	婦去来図	1 幅	調査、燻蒸、カビ除去	AF、山田祐子
187	B-2217	浅草文庫蔵書印	1 類	展示補助具作成	米倉乙世
188	B-2530	●元暦校本万葉集	20 冊	書見台作成	米倉乙世
189	B-3046	●三宝絵詞	3 冊	書見台作成	米倉乙世
190	B-3074	書状	1 幅	保存箱作成	米倉乙世
191	B-3207	円頓止観	1 幅	ドライクリーニング、折れ伏せ、剥離箇所の接着、フラットニング、保存箱の作製	(株) 修護
192	B 寄託	行書孟浩然五言律詩軸	1 幅	掛緒、巻緒の交換	AF
193	C-1072	ロザリオ及び十字架残欠	1 連	接着	保存修復課
194	E-14242	槃龍背八角鏡（模造）	1 面	接着	足立収一、保存修復課

No	列品番号	名称	員数	処置内容	処置担当者
195	E-14247	碧瑠璃小尺・黄瑠璃小尺（模造）	2 枚	展示マウント作製	米倉乙世
196	F-50	刀 無銘 青江	1 口	割鞘	森井敦夫
197	F-114	太刀 銘 備州長船住（以下切）／貞和□年（以下切）	1 口	割鞘、研継、錆除去	森井敦夫、小野敬博
198	F-17051	太刀 銘 高綱	1 口	割鞘、研継	森井敦夫、小野敬博
199	F-17083	脇指 銘 備前国鞆負郷住長船左京進宗光作／文明十三年八月吉日	1 口	割鞘	森井敦夫
200	F-17110	短刀 銘 兼涌	1 口	研継	小野敬博
201	F-20212	矢羽	3本6組 (18本)	マウント、保存箱作製	米倉乙世
202	G-596	切子銅赤色被せガラス鉢	1 口	クリーニング、接着	保存修復課
203	G-755	蛇蝎釉茶碗	1 口	ラベル除去、クリーニング	保存修復課
204	G-2445	切子加彩ガラス鉢	1 口	ラベル除去、クリーニング、保存箱 クリーニング・接着	保存修復課
205	G-2446	切子金彩ガラス蓋付鉢	1 合	ラベル除去、保存箱クリーニング・ 接着	保存修復課
206	G-2447	切子金彩ガラス鉢	一式 (2 口)	ラベル除去、保存箱クリーニング・ 接着	保存修復課
207	G-3709	子供遊殿様行列	1 組	クリーニング、接着、補填	保存修復課
208	H-4788	御鳳輦	1 基	ドライクリーニング	足立収一、保存修復課
209	I-337-82	淡茶地花葉文夾緞平絹華鬘残欠	2 枚	マット装	米倉乙世
210	I-337-96	暈緞緞平絹	1 枚	マット装	米倉乙世
211	J-8425	高坏	1 個	接着	保存修復課
212	J-39487	色絵花虫図陶板（タイル）	1 式 (5 枚)	クリーニング、接着、額装修理	保存修復課
213	J-39488	色絵蘆鷺図陶板（タイル）	1 式 (4 枚)	クリーニング、充填、剥落止め、補 彩、接着、額装修理	保存修復課
214	J-39547	前漢鏡残片	3 片	表面強化	保存修復課
215	K-25730-2	太刀	1 口	接着	保存修復課
216	K-25928-1	玩具 馬上人形	1 個	形状補修・補強、剥落止め、クリー ニング、補彩	足立収一、保存修復課
217	K-25928-2	玩具 鷹	1 個	剥落止め、クリーニング、補彩	足立収一、保存修復課
218	K-25928-3	玩具 程順則像	1 個	剥落止め、クリーニング、補彩	足立収一、保存修復課
219	K-25928-4	玩具 笠を着て舞う女	1 個	形状補修・補強、剥落止め、クリー ニング、補彩	足立収一、保存修復課
220	K-25928-5	玩具 鉢巻きの男	1 個	剥落止め、クリーニング、補彩	足立収一、保存修復課
221	K-25928-6	玩具 紙雛および箱	1 個	形状補修・補強、剥落止め	足立収一、保存修復課
222	K-25928-9	玩具 鶴	1 個	形状補修・補強、剥落止め、クリー ニング、補彩	足立収一、保存修復課
223	K-25928-10	玩具 船人形	1 個	形状補修・補強、剥落止め、クリー ニング、補彩	足立収一、保存修復課
224	K-25928-11	玩具 鼠を捕らえる鷲	1 個	形状補修・補強、剥落止め、クリー ニング、補彩	足立収一、保存修復課

No	列品番号	名称	員数	処置内容	処置担当者
225	K-25928-12	玩具 鶏	1 個	形状補修・補強、剥落止め、クリーニング、補彩	足立収一、保存修復課
226	K-25928-13	玩具 長持	1 個	形状補修・補強、剥落止め	足立収一、保存修復課
227	K-25928-14	玩具 面	1 個	形状補修・補強、剥落止め、クリーニング、補彩	足立収一、保存修復課
228	K-25928-15	玩具 屋根舟	1 個	形状補修・補強、剥落止め、クリーニング、補彩	足立収一、保存修復課
229	K-25928-16	玩具 子を抱き団扇を携ふる女	1 個	形状補修・補強、剥落止め、クリーニング、補彩	足立収一、保存修復課
230	K-25970	玉ハベル	1 枚	付属品マウント作製	米倉乙世
231	N-56	◎蜀江錦幡残欠の旧裏打ち紙、付属文書	3 枚	マウント作製	米倉乙世
232	N-317	◎錦綾幡残欠 付属列残片	1 括	展示具・保存箱作製	米倉乙世
233	P-2362-117	江戸城本丸大奥御対面所障壁画下絵	1 巻	展示具作製	米倉乙世
234	P-2596	上野博物館遠景之図	1 枚	額装	桐原瑛奈
235	P-2597	表慶館完成予想図	1 枚	額装	桐原瑛奈
236	P-2906-5	◎日本沿海興地図（中図）中部・近畿	1 舗	フラットニング、展示具作製	米倉乙世、山田祐子、黒江将太、AF
237	P-2906-6	◎日本沿海興地図（中図）四国	1 舗	フラットニング、展示具作製	米倉乙世、山田祐子、黒江将太、AF
238	P-2906-7	◎日本沿海興地図（中図）九州北部	1 舗	フラットニング、展示具作製	米倉乙世、山田祐子、黒江将太、AF
239	P-2906-8	◎日本沿海興地図（中図）九州南部	1 舗	フラットニング、展示具作製	米倉乙世、山田祐子、黒江将太、AF
240	P-2938	東京名所上野公園内国勸業第二博覧会美術館図	3 枚	マット装	桐原瑛奈
241	P-3033	東京名所上野公園地内国勸業博覧会美術館之図	3 枚	額装	桐原瑛奈
242	P-3036	東京名所之内明治十年上野公園地内国勸業博覧会開場之図	3 枚	額装	桐原瑛奈
243	P-3038	古今珍物集覧	1 枚	額装	桐原瑛奈
244	P-3702	吉例 兎の年礼晰	1 枚	補紙、マット装	桐原瑛奈
245	P-3703	玉兎黄金の酉年	1 枚	補紙、マット装	桐原瑛奈
246	P-3753	高運不運 兎の盛衰	2 枚	付着物の除去、補紙、マット装	桐原瑛奈
247	P-3960	明治5年湯島聖堂 博覧会広告・観覧券	2 枚	マウント装	米倉乙世
248	P-3971	博覧会図式	1 枚	マウント装	米倉乙世
249	QA-379	百人女郎品定（上下のうち上）	1 冊	ドライクリーニング、綴じ糸交換	高橋志歩
250	QA-483-1	本朝画史	1 冊	ドライクリーニング、綴じ糸交換、題箋剥落止め	高橋志歩
251	QA-483-2	本朝画史	1 冊	ドライクリーニング、綴じ糸交換、題箋剥落止め	高橋志歩
252	QA-483-6	本朝画印	1 冊	ドライクリーニング、綴じ糸交換、題箋剥落止め	高橋志歩
253	QB-2967	劇場一覧	1 冊	ドライクリーニング、綴じ糸交換	高橋志歩
254	QB-8749	名目抄	1 冊	ドライクリーニング、綴じ糸交換	高橋志歩

No	列品番号	名称	員数	処置内容	処置担当者
255	美写-2878	五百羅漢図 大徳寺臨時全国宝物 取調写真	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋 志歩、南和美
256	美写-2882	枯木鶴図襖 大徳寺真珠庵臨時全国宝物 取調写真	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋 志歩、南和美
257	美写-2886	十六羅漢図 大徳寺龍光院臨時全国宝物 取調写真	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋 志歩、南和美
258	美写-2888	花鳥図襖 大徳寺大仙院臨時全国宝物 取調写真	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋 志歩、南和美
259	R-44	愛宕山	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋 志歩、南和美
260	R-45	築地	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋 志歩、南和美
261	R-46	浜離宮	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋 志歩、南和美
262	R-47	浜離宮	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋 志歩、南和美
263	R-48	浜離宮	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋 志歩、南和美
264	R-49	浜離宮	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋 志歩、南和美
265	R-53	芝明神	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋 志歩、南和美
266	R-54	東京運上所	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋 志歩、南和美
267	R-55-1	上野不忍池	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋 志歩、南和美
268	R-56	九段坂牛ヶ淵	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋 志歩、南和美
269	R-57	九段坂	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋 志歩、南和美
270	R-159	日光霜降橋遠望	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋 志歩、南和美
271	R-160	日光神橋並通用橋	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋 志歩、南和美
272	R-161	日光神橋	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋 志歩、南和美
273	R-162	日光輪王寺庭前	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋 志歩、南和美
274	R-163	日光輪王寺庭前	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋 志歩、南和美
275	R-164	日光輪王寺庭並茶亭	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋 志歩、南和美
276	R-166	日光東照宮仁王門	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋 志歩、南和美
277	R-167	日光東照宮水屋	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋 志歩、南和美
278	R-170	日光東照宮陽明門	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋 志歩、南和美

No	列品番号	名称	員数	処置内容	処置担当者
279	R-171	日光東照宮陽明門	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
280	R-173	日光東照宮神楽殿	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
281	R-174	日光東照宮唐門	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
282	R-175	日光東照宮唐門	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
283	R-176	日光東照宮將軍廟所	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
284	R-177	日光輪王寺	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
285	R-179	日光中禪寺馬返	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
286	R-181	日光御沢	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
287	R-183	日光寂光滝	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
288	R-185	日光中禪寺湖	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
289	R-186	日光中禪寺湖	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
290	R-462-1	富岡製糸場遠望	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
291	R-463-1	富岡製糸場	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
292	R-464-1	富岡製糸場建設中の東置繭所	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
293	R-465-1	富岡製糸場繰糸所	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
294	R-466-1	富岡製糸場煙突	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
295	R-468-1	富岡製糸場繰糸所内部	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
296	R-469-1	富岡製糸場繰糸所内部	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
297	R-470-1	富岡製糸場繰糸所内部	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
298	R-471-1	富岡製糸場構内関係人物写真	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
299	R-472-1	富岡製糸場繰糸所内部	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
300	R-473-1	富岡製糸場蒸気釜所・煙突	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
301	R-504-1	寛永寺 常憲院拝殿唐門	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
302	R-513-1	寛永寺 二ノ霊屋水屋	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美

No	列品番号	名称	員数	処置内容	処置担当者
303	R-515-1	寛永寺 一ノ霊屋唐門	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
304	R-519-1	寛永寺 鐘樓堂	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
305	R-520-1	寛永寺 俊明院宝塔前門	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
306	R-521-1	寛永寺 俊明院拝殿唐門	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
307	R-522-1	寛永寺 慈眼堂	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
308	R-523-1	寛永寺 有徳院宝塔門	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
309	R-547	京都大仏鐘	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
310	R-548	清水	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
311	R-549	眼鏡橋	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
312	R-550	東大谷	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
313	R-551-1	布引滝	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
314	R-554	湊川久形橋	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
315	R-555	神戸居留地	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
316	R-556	神戸関税	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
317	R-557	神戸病院	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
318	R-558	神戸居留地	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
319	R-559	神戸居留地	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
320	R-560	神戸集会所	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
321	R-563	天満橋	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
322	R-564	高麗橋	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
323	R-565-1	住吉反橋	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
324	R-566	住吉大社石灯籠	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
325	R-567	長崎興福寺	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
326	R-568	長崎出島	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美

No	列品番号	名称	員数	処置内容	処置担当者
327	R-569	近江国唐崎松	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
328	R-570	鹿児島市街	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
329	R-571	磯紡績所	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
330	R-572	駒ヶ嶽	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
331	R-575	函館	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
332	R-577	函館市街	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
333	R-582	増上寺 二代將軍唐門	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
334	R-583	増上寺 二代將軍総門	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
335	R-584	増上寺 二代將軍勅額門	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
336	R-585	増上寺 二代將軍総門	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
337	R-1367-1	◎京都御所紫宸殿壬申検査関係写真	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
338	R-1368	◎京都御所紫宸殿	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
339	R-1369	◎京都御所紫宸殿後面	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
340	R-1370-1	◎京都御所紫宸殿後面壬申検査関係写真	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
341	R-1371-1	◎京都御所清涼殿壬申検査関係写真	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
342	R-1372	◎京都御所清涼殿	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
343	R-1374-1	◎京都御所内侍所	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
344	R-1376	◎京都御所小御所	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
345	R-1377	◎京都御所小御所庭	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
346	R-1378	◎京都御所常御殿	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
347	R-1379	◎京都御所御学問所	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
348	R-1380	◎京都御所常御殿南面	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
349	R-1381	◎京都御所参内殿	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
350	R-1382	◎京都御所内侍所同仮殿御鳳輦部屋	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美

No	列品番号	名称	員数	処置内容	処置担当者
351	R-1383	◎東寺五重塔	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
352	R-1384	◎東寺大師堂	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
353	R-1386	◎広隆寺太子堂	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
354	R-1390	◎清涼寺釈迦堂	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
355	R-1391	◎東大寺大仏殿山門	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
356	R-1393-1	◎東大寺大仏殿	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
357	R-1395	◎東大寺三月堂	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
358	R-1396	◎東大寺三月堂	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
359	R-1397	◎東大寺碾磑門（景清門）	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
360	R-1398	◎正倉院	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
361	R-1399	◎正倉院	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
362	R-1406	◎春日大社楼門	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
363	R-1407	◎春日大社前大和舞	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
364	R-1411	◎興福寺 猿沢池	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
365	R-1412	◎猿沢池	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
366	R-1417	◎唐招提寺金堂	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
367	R-1419	◎唐招提寺礼堂・舍利堂	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
368	R-1420	◎唐招提寺講堂	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
369	R-1421	◎唐招提寺鼓楼	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
370	R-1422	◎薬師寺塔・金堂・鐘堂・後堂	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
371	R-1423	◎薬師寺鐘堂	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
372	R-1424	◎薬師寺三重塔	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
373	R-1425	◎薬師寺三重塔	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
374	R-1426	◎聖徳太子像	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美

No	列品番号	名称	員数	処置内容	処置担当者
375	R-1427	◎法隆寺金堂	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
376	R-1429	◎法隆寺五重塔	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
377	R-1430	◎法隆寺夢殿	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
378	R-1443	◎熱田神宮一鳥居	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
379	R-1444	◎熱田八剣神社	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
380	R-1445	◎熱田神宮	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
381	R-1446	◎真福寺	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
382	R-1447	◎名古屋城	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
383	R-1448	◎名古屋城	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
384	R-1449	◎名古屋城天守閣	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
385	R-1450	◎伊勢神宮	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
386	R-1451	◎伊勢神宮	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
387	R-1452	◎伊勢神宮	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
388	R-1453	◎伊勢神宮	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
389	R-2087	竹内保徳	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
390	R-2088	松井康直	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
391	R-2089	京極高朗	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
392	R-2090	柴田貞太郎	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
393	R-2091	森山多吉郎	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
394	R-2092	岩崎豊太夫	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
395	R-2093	福地源一郎	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
396	R-2094	福田作太郎	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
397	R-2095	日高圭三郎	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
398	R-2096	淵邊徳蔵	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美

No	列品番号	名称	員数	処置内容	処置担当者
399	R-2097	岡崎藤左衛門	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
400	R-2098	上田友輔	1 枚	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
401	TA-124	遊漁図軸	2 幅	糊差し、虫損部の補修、軸受けの作製	山田祐子
402	TA-148	◎寒山拾得図	2 幅	ドライクリーニング、表装の補強	(株) 修護
403	TA-184	書画合璧冊	1 冊	カバー作製	米倉乙世
404	TA-326	○雪景山水図軸	1 幅	紐の交換、鉛除去	AF、山田祐子
405	TA-391	山水図軸	1 幅	軸首の新調	AF
406	TA-420	鹿図	1 幅	軸棒の新調、糊差し、欠失部補修、皺伸ばし、プレス乾燥	AF、山田祐子
407	TA-467	倣李成雪山行旅図巻	1 巻	糊止め、フラットニング、紙管・かぶせ箱作製	AF、米倉乙世
408	TA-489	◎竹塘宿雁図軸	1 幅	軸木の新調	(株) 修護
409	TA-505	秘密集会	1 幅	剥落止め、太巻芯の作製	AF、山田祐子
410	TA-509	ガルバ・ヘーヴァジュラ十七尊曼荼羅	1 幅	剥落止め、太巻芯の作製	AF、山田祐子
411	TA-512	バンチャダーカ曼荼羅	1 幅	剥落止め、太巻芯の作製	AF、山田祐子
412	TA-693-1	ジャイナ教経典写本カルバストラ（ミニアチュール）	1 冊 (167 枚)	マット装	米倉乙世、桐原瑛奈、高橋志歩、南和美
413	TA-710	白色ターラー菩薩像	1 幅	掛緒新調、マウント	AF、米倉乙世
414	TA-723	文字絵図屏風	10 曲 1 隻	糊差し、ドライクリーニング、蝶番繕い、展示補助具の作製	AF、山田祐子
415	TB-228	中嶽嵩高霊廟碑	1 幅	掛緒、巻緒の交換	山田祐子
416	TB-240	高湛墓誌	1 幅	掛緒、巻緒の交換	AF
417	TB-1172	◎法属禅師あて尺牘	1 幅	クリーニング、折れ伏せ、フラットニング、紐、座鑽、八双の新調、軸木、風帯の取付、保存箱の新調	(株) 修護
418	TB-1270	楷書「欣懐楽事」額	1 面	糊差し	AF
419	TB-1271	楷書二字軸「松竹」	1 幅	フラットニング、折れ伏せ	AF、山田祐子
420	TB-1437	禅院牌字断簡「湯」	1 幅	掛緒、巻緒の交換	AF
421	TG-3069	ラスター彩搔落銘文入鉢	1 口	破断部分の接合、補填、補彩	保存修復課
422	TI-155	ショール白地ベイズリーカシミア織文様捺染	1 枚	補修、棒通し縫付	山崎真紀子
423	TI-165	ショール 紫地花ベイズリー文様絞り	1 枚	加湿整形、棒通し縫付	山崎真紀子
424	TI-207	ウロス紫縞幾何文様浮紋織	1 枚	棒通し縫付	山崎真紀子
425	TI-234	スレンジン（肩衣）白地花卉文様バティック	1 枚	棒通し縫付、加湿整形、汚れ除去	山崎真紀子
426	TI-468	赤地金更紗「衣を隠されたゴピたち」	1 枚	加湿整形、マウント	山崎真紀子、米倉乙世
427	TI-470	白地花瓶孔雀模様金更紗	1 枚	旧台布取外し、加湿整形、マウント	山崎真紀子、米倉乙世
428	TI-515	上着（アンガルカー）白地花卉文様金更紗綿入	1 着	加湿整形、補修	山崎真紀子
429	TI-567-1	クッションカバー段幾何文様	1 枚	棒通し縫付、補修	山崎真紀子

No	列品番号	名称	員数	処置内容	処置担当者
430	TJ-2061-5	「周衍」封泥	1 個	破断面の目止め、破片の接着、クリーニング	足立収一、保存修復課
431	TK-1977	刀	1 本	含侵強化、脱落片の再接着、ほつれの貼付	足立収一、保存修復課
432	館史-2542	東京帝室博物館 列品臺帳 第貳編 (自明治二十二年五月十六日 至明治三十四年十二月) 天産部 第拾四冊 動物区 軟體類ノ二	1 冊	ドライクリーニング、革に HPC、保革油塗布、解体、綴じ直し、表紙と中身の再接続、新規背表紙貼り込み、ノド布修復、見返し貼り戻し	(株) Conservation for Identity
433	館史-2543	東京帝室博物館 列品臺帳 第貳編 (自明治二十二年五月十六日 至明治三十四年十二月) 天産部 第拾五冊 動物区 軟體類ノ三	1 冊	ドライクリーニング、革に HPC、保革油塗布、解体、綴じ直し、表紙と中身の再接続、新規背表紙貼り込み、ノド布修復、見返し貼り戻し	(株) Conservation for Identity
434	館史-2544	東京帝室博物館 列品臺帳 第貳編 (自明治二十二年五月十六日 至明治三十四年十二月) 天産部 第拾六冊 動物区 軟體類ノ四	1 冊	ドライクリーニング、革に HPC、保革油塗布、解体、綴じ直し、表紙と中身の再接続、新規背表紙貼り込み、ノド布修復、見返し貼り戻し	(株) Conservation for Identity
435	館史-2545	東京帝室博物館 列品臺帳 第貳編 (自明治二十二年五月十六日 至明治三十四年十二月) 天産部 第拾七冊 動物区 昆蟲類ノ一	1 冊	ドライクリーニング、革に HPC、保革油塗布、解体、綴じ直し、表紙と中身の再接続、新規背表紙貼り込み、ノド布修復、見返し貼り戻し	(株) Conservation for Identity
436	館史-2546	東京帝室博物館 列品臺帳 第貳編 (自明治二十二年五月十六日 至明治三十四年十二月) 天産部 第拾八冊 動物区 昆蟲類ノ二	1 冊	ドライクリーニング、革に HPC、保革油塗布、解体、綴じ直し、表紙と中身の再接続、新規背表紙貼り込み、ノド布修復、見返し貼り戻し	(株) Conservation for Identity
437	館史-2588	東京帝室博物館 列品臺帳 第貳編 (自明治二十二年五月十六日 至明治三十四年十二月) 天産部 第六拾冊 鑛物区 外國産岩石	1 冊	ドライクリーニング、革に HPC、保革油塗布、解体、綴じ直し、表紙と中身の再接続、新規背表紙貼り込み、ノド布修復、見返し貼り戻し	(株) Conservation for Identity
438	図書-E0792 (90021425)	草木誌	1 冊	書見台の作製	米倉乙世
439	未整理品	海図	97 点	ドライクリーニング	AF、山田祐子、黒江将太

*「AF」は、東京国立博物館学芸研究部保存修復課に常駐の修理技術者（アソシエイトフェロー）である大山龍顕を示す。

*「保存修復課」は、当館職員の修理技術者である野中昭美を示す。

*保存修復課およびアソシエイトフェローが行なった対症修理のうち、特別展にかかわる作業件数はリストに含まれていない。

* AF が作製した旧美術品台帳背表紙用保存箱の件数はリストに含まれていない。

* 図書における列品番号の箇所は、「請求記号（図書 ID）」を示している。

*「ドライクリーニング」とは、溶剤を用いない刷毛やブラシによるクリーニングを示す。

List of Works Conserved in Fiscal Year 2022

◎ = Important Cultural Property

No.	Object Name	Creator/Provenance	Date	Donor
Japanese Painting				
1 A-1155	Fan-Shaped Miscellaneous Paintings	By Sakai Hōitsu	Edo period, 18th-19th century	
Japanese Textiles				
2 I-721	◎ Kimono (<i>Kosode</i>) with Autumn Grasses	By Ogata Kōrin	Edo period, 18th century	
3 I-337-6	Textile with Dotted Squares	Passed down at the Shōsōin Repository	Nara period, 8th century	
4 I-337-7	Textile with Dotted Squares	Passed down at the Shōsōin Repository	Nara period, 8th century	
5 I-337-48	Textile with Haze-Like Latticework and Birds	Passed down at the Shōsōin Repository	Nara period, 8th century	
6 I-337-49	Textile with Haze-Like Latticework and Birds	Passed down at the Shōsōin Repository	Nara period, 8th century	
7 I-337-50	Textile with a Stylized Seascape	Passed down at the Shōsōin Repository	Nara period, 8th century	
8 I-337-54	Textile with Flowering Plants	Passed down at the Shōsōin Repository	Nara period, 8th century	
9 I-337-57	Waist Ornament (Fragment) with Flowering Plants	Passed down at the Shōsōin Repository	Nara period, 8th century	
10 I-337-89	Textile with a Flower Cluster	Passed down at the Shōsōin Repository	Nara period, 8th century	
11 I-337-90	Textile with a Flower Cluster	Passed down at the Shōsōin Repository	Nara period, 8th century	
12 I-337-109	Textile with Flowers and Leaves	Passed down at the Shōsōin Repository	Nara period, 8th century	
13 I-337-134	Hanging Ornament (Fragment) with a Flying Immortal for a Canopy	Passed down at the Shōsōin Repository	Nara period, 8th century	
14 I-337-135	Hanging Ornament (Fragment) with Clouds and Phoenixes for a Canopy	Passed down at the Shōsōin Repository	Nara period, 8th century	
15 I-337-136	Textile with Floral Vines	Passed down at the Shōsōin Repository	Nara period, 8th century	
16 I-337-137	Banner Leg (Fragment) with Floral Vines	Passed down at the Shōsōin Repository	Nara period, 8th century	
17 I-337-171	Textile with <i>Karahana</i> Flowers	Passed down at the Shōsōin Repository	Nara period, 8th century	
18 I-337-173	Textile with <i>Karahana</i> Flowers	Passed down at the Shōsōin Repository	Nara period, 8th century	
19 I-337-176	Striped Textile with Birds and Flowers	Passed down at the Shōsōin Repository	Nara period, 8th century	
20 I-337-196	Decoration for the Foot of a Banner Leg with Flowers inside Linked Hexagons and Repeating Circles	Passed down at the Shōsōin Repository	Nara period, 8th century	

No.	Object Name	Creator/Provenance	Date	Donor
21 I-337-197	Decoration for the Foot of a Banner Leg with Flowers	Passed down at the Shōsōin Repository	Nara period, 8th century	
22 I-337-198	Decoration for the Foot of a Banner Leg with <i>Karahana</i> Flowers	Passed down at the Shōsōin Repository	Nara period, 8th century	
23 I-337-199	Decoration for the Foot of a Banner Leg with Flowers	Passed down at the Shōsōin Repository	Nara period, 8th century	
24 I-337-200	Decoration for the Foot of a Banner Leg with <i>Karahana</i> Flowers	Passed down at the Shōsōin Repository	Nara period, 8th century	
25 I-337-201	Decoration for the Foot of a Banner Leg with <i>Karahana</i> Flowers	Passed down at the Shōsōin Repository	Nara period, 8th century	
26 I-337-233	Textile with <i>Karahana</i> Flowers	Passed down at the Shōsōin Repository	Nara period, 8th century	
27 I-337-234	Textile with Dotted Squares	Passed down at the Shōsōin Repository	Nara period, 8th century	
Japanese Archaeology				
28 J-7822	Tomb Sculpture (<i>Haniwa</i>): Horse	Found in Isesaki City, Gunma	Kofun period, 6th century	
29 J-1474	Stone Rod	Found in Komagane City, Nagano	Jōmon period, 3000–2000 BC	Gift of Mr. Komachiya Yataimahiko
Japanese Book				
30 QB-30	Chronicle of the Great Mikawa	By Matsudaira Yorihiro	Edo period, 1763	Gift of Mr. Tokugawa Muneyoshi
Asian Painting				
31 TA-693-72	Kashmir-Style Manuscript	Created in India	First half of the 19th century	Gift of Mr. Tsuruoka Ryū

令和 6 年 3 月 29 日発行

令和 4 年度

東京国立博物館文化財修理報告 24

Tokyo National Museum
Annual Conservation Report, Fiscal 2022

編集・発行 東京国立博物館

〒110-8712 東京都台東区上野公園 13-9

電話 03-3822-1111 (代表)

製作 精興社

©2024 Tokyo National Museum

